

2016年7月28日

2017年3月期 第1四半期 決算説明会

孫正義

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中のスプリント・コーポレーション（以下「スプリント」）に関するいかなる記載も、当社がスプリントに対する投資家としての立場から行っているものに過ぎず、スプリントを代理して、又はスプリントのために行われたものではありません。本資料中のスプリントに関するいかなる情報も、スプリント自体が今後行うあらゆる開示に服します。スプリント及び当社はいずれも、スプリントが今後行う開示に関連して、又は今後発生する事象を反映するために、本資料中の情報を更新する義務を負いません。本資料におけるいかなる記載も、スプリントが自ら開示等を行う義務を構成するものとして解釈されてはならないものとしします。

全セグメントが好調

 SoftBank
国内通信事業

営業増益を継続
(11%増)

 Sprint

調整後EBITDAが
大幅に増加
(18%増)

 YAHOO!
JAPAN

イーコマース革命が
順調に進展
(取扱高 +38%)

 SoftBank
投資資産

投資回収により
価値が顕在化
(172億ドルを資金化)

*1 調整後EBITDA: 米国会計基準(ドルベース)

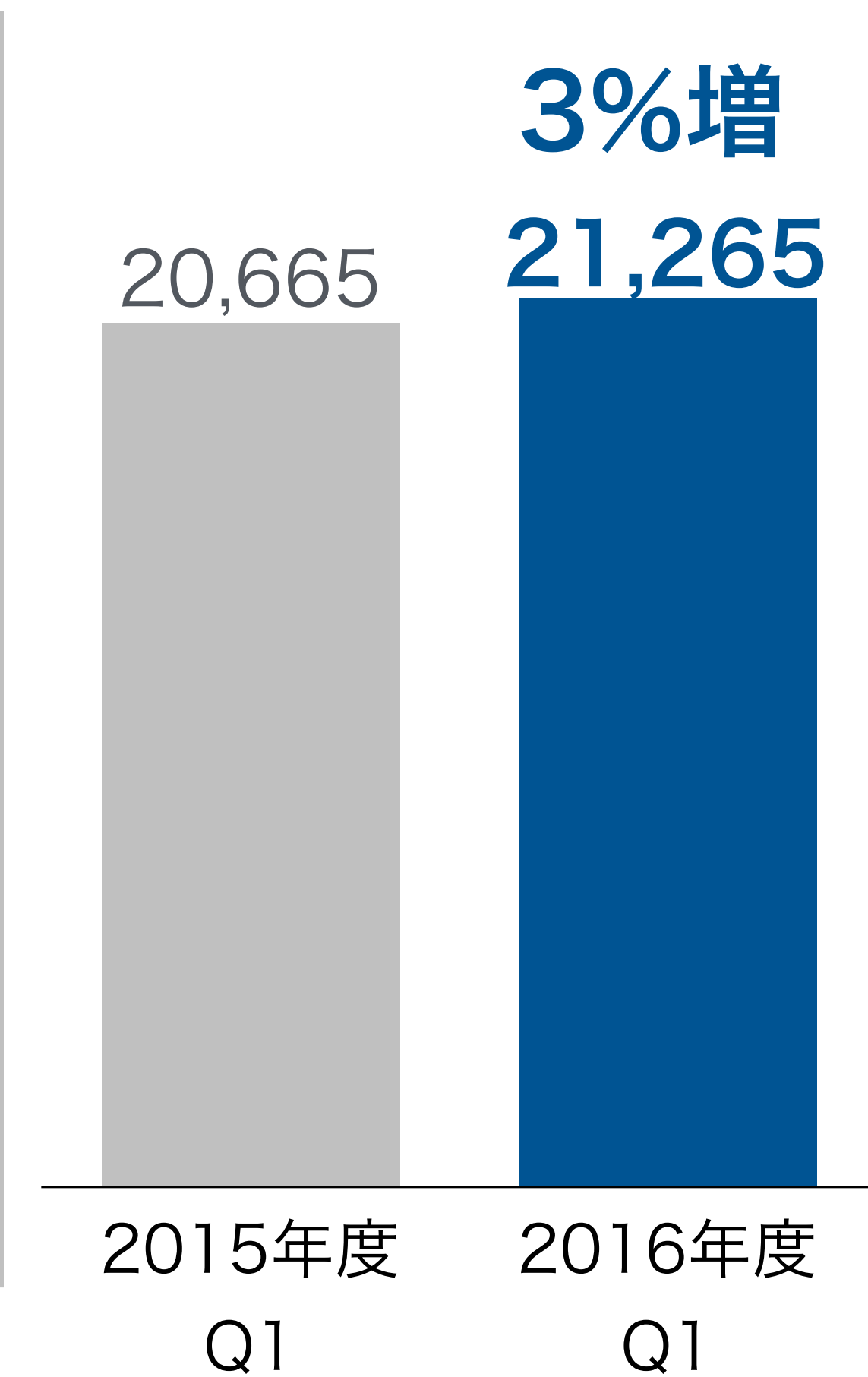
*2 取扱高: ショッピング事業 取扱高

連結業績

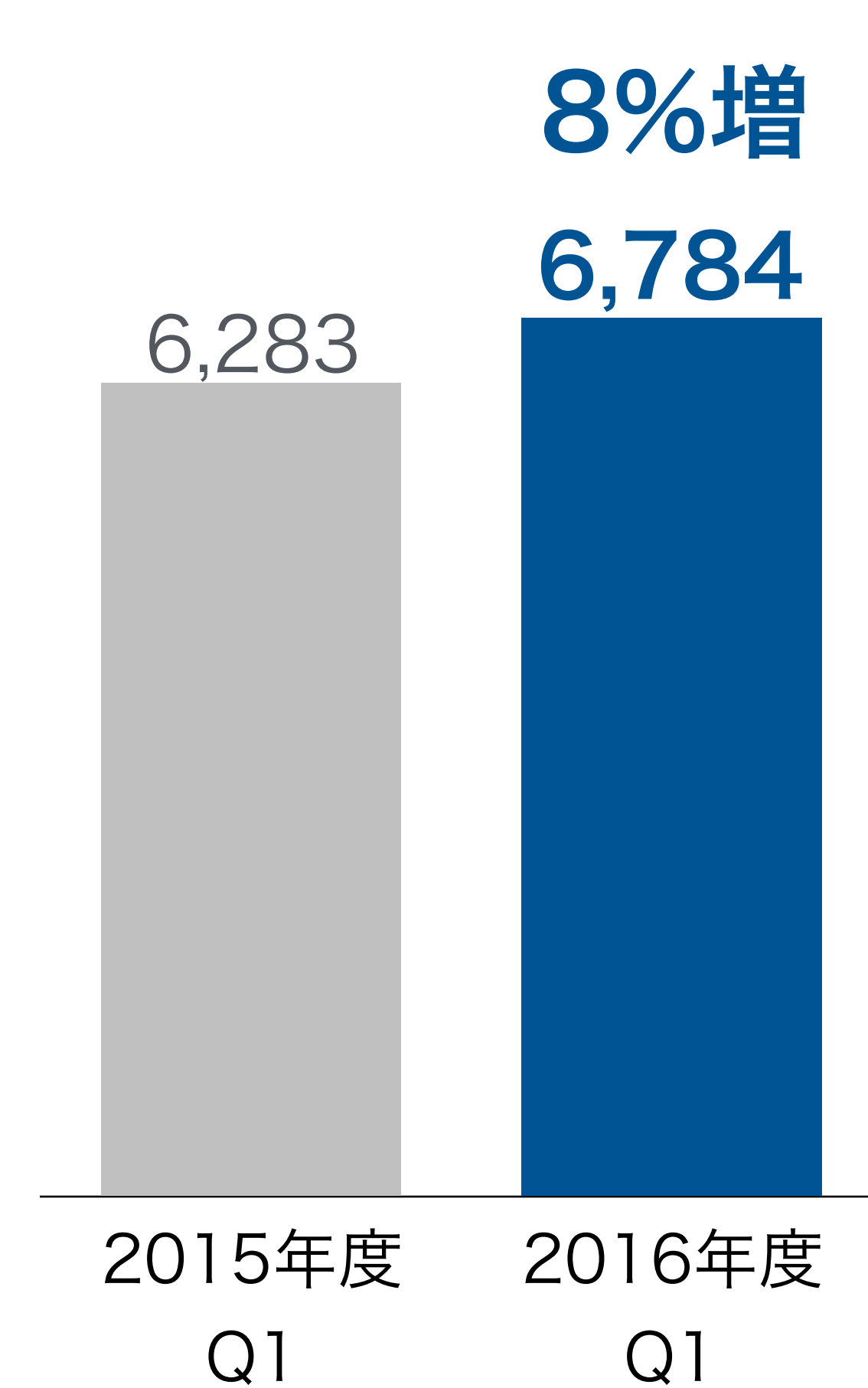
全ての指標で増加

(億円)

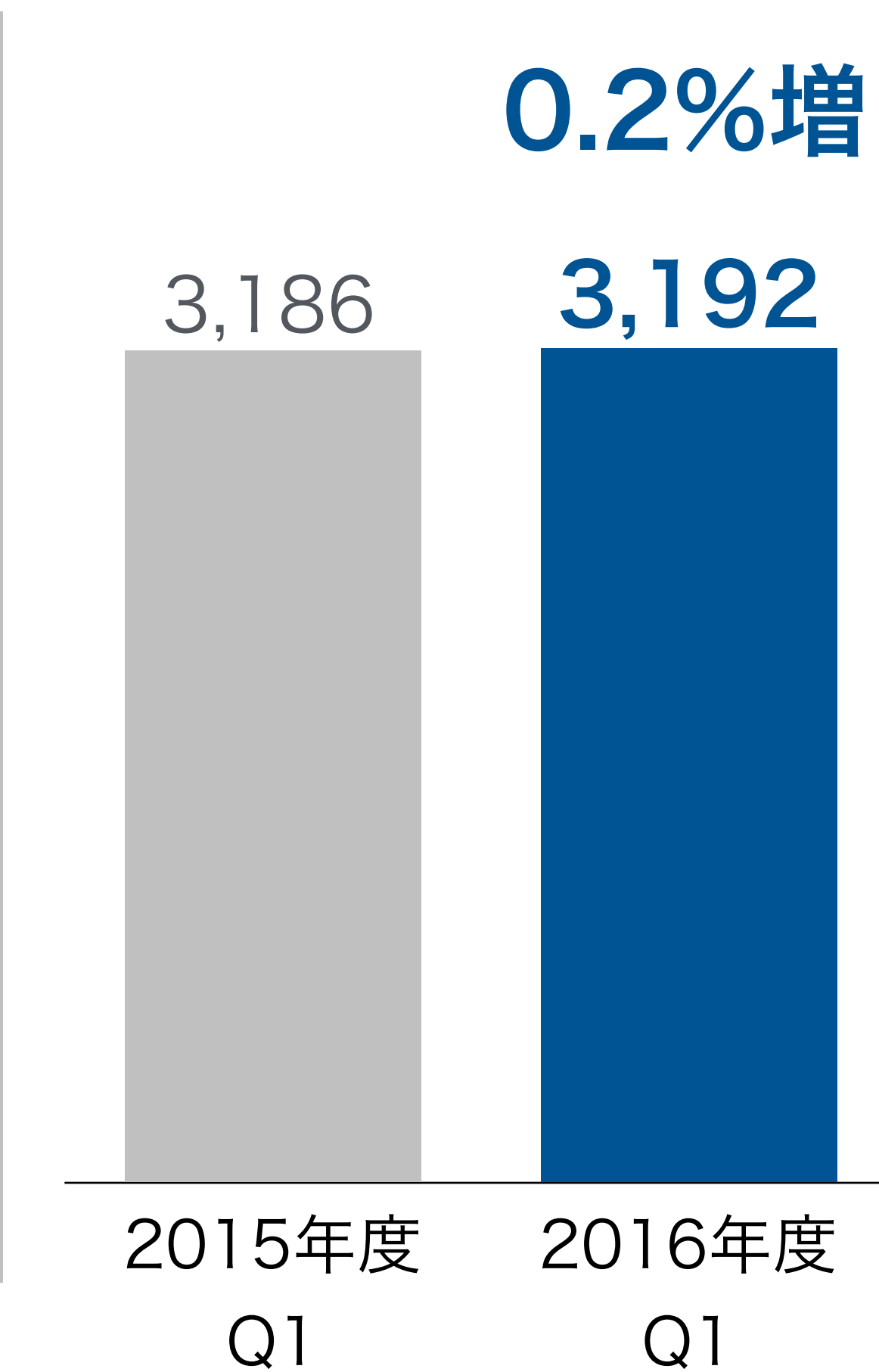
売上高



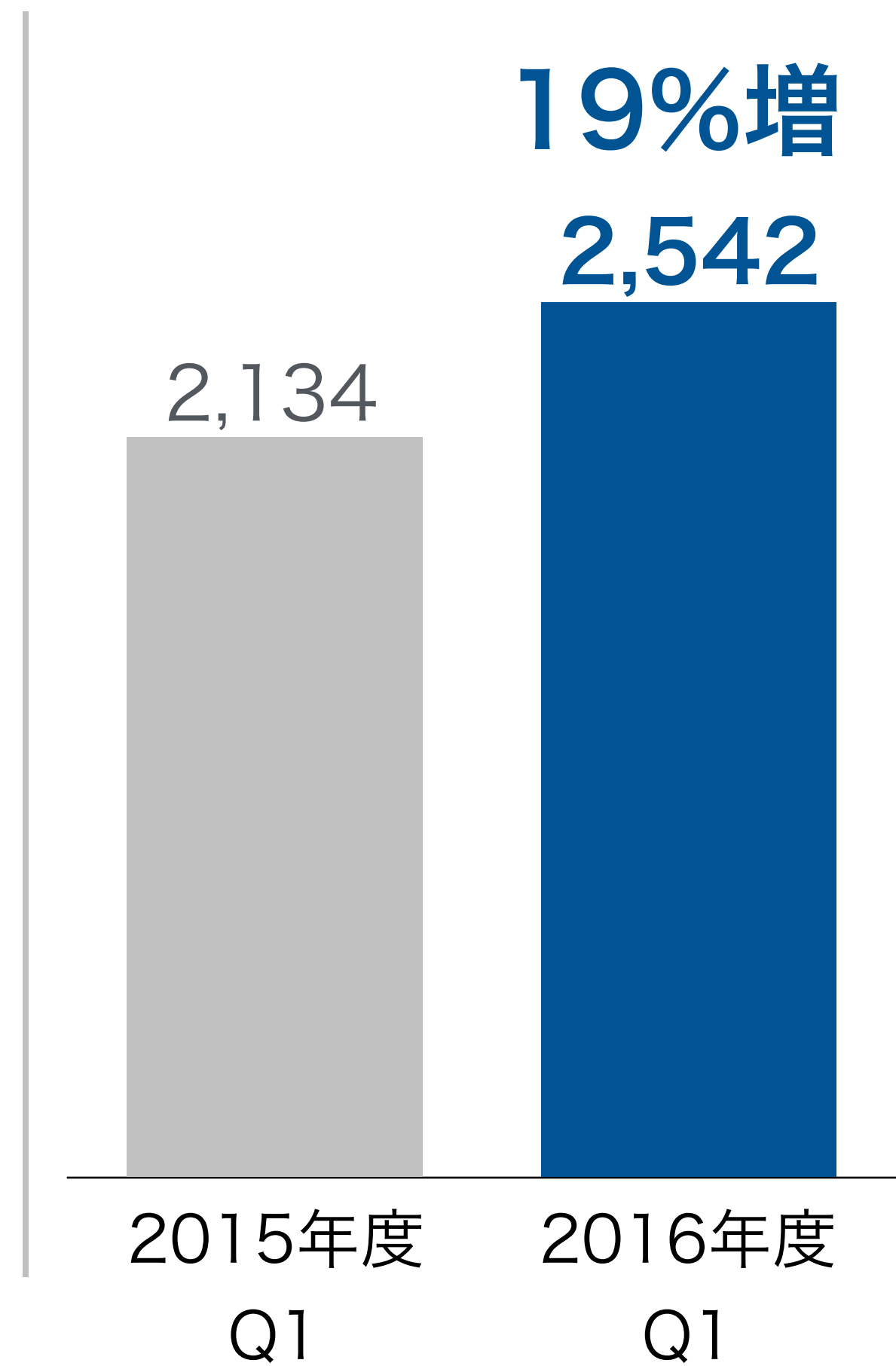
調整後EBITDA



営業利益

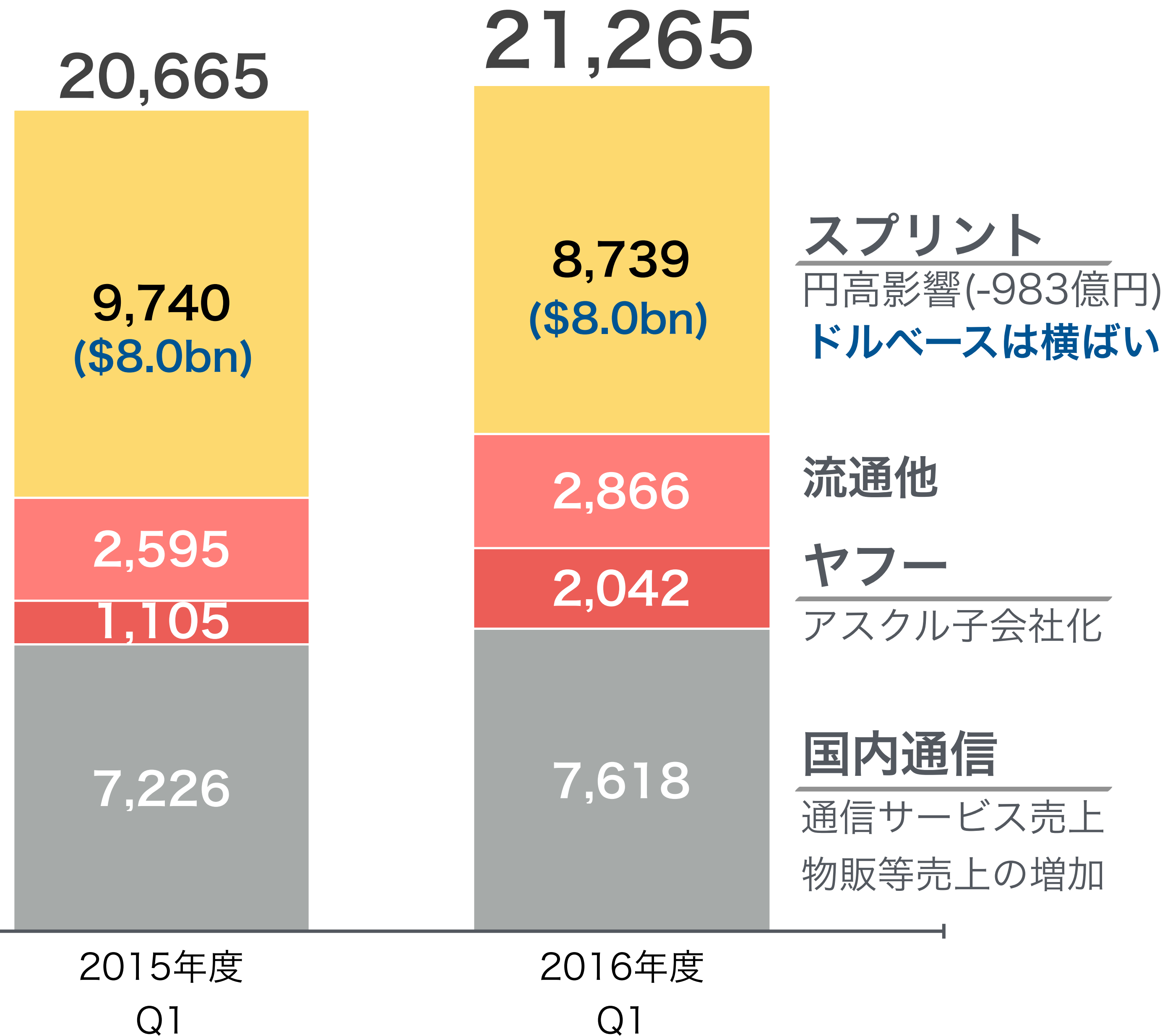


当期純利益



売上高

(億円)



3%増

(為替レート)

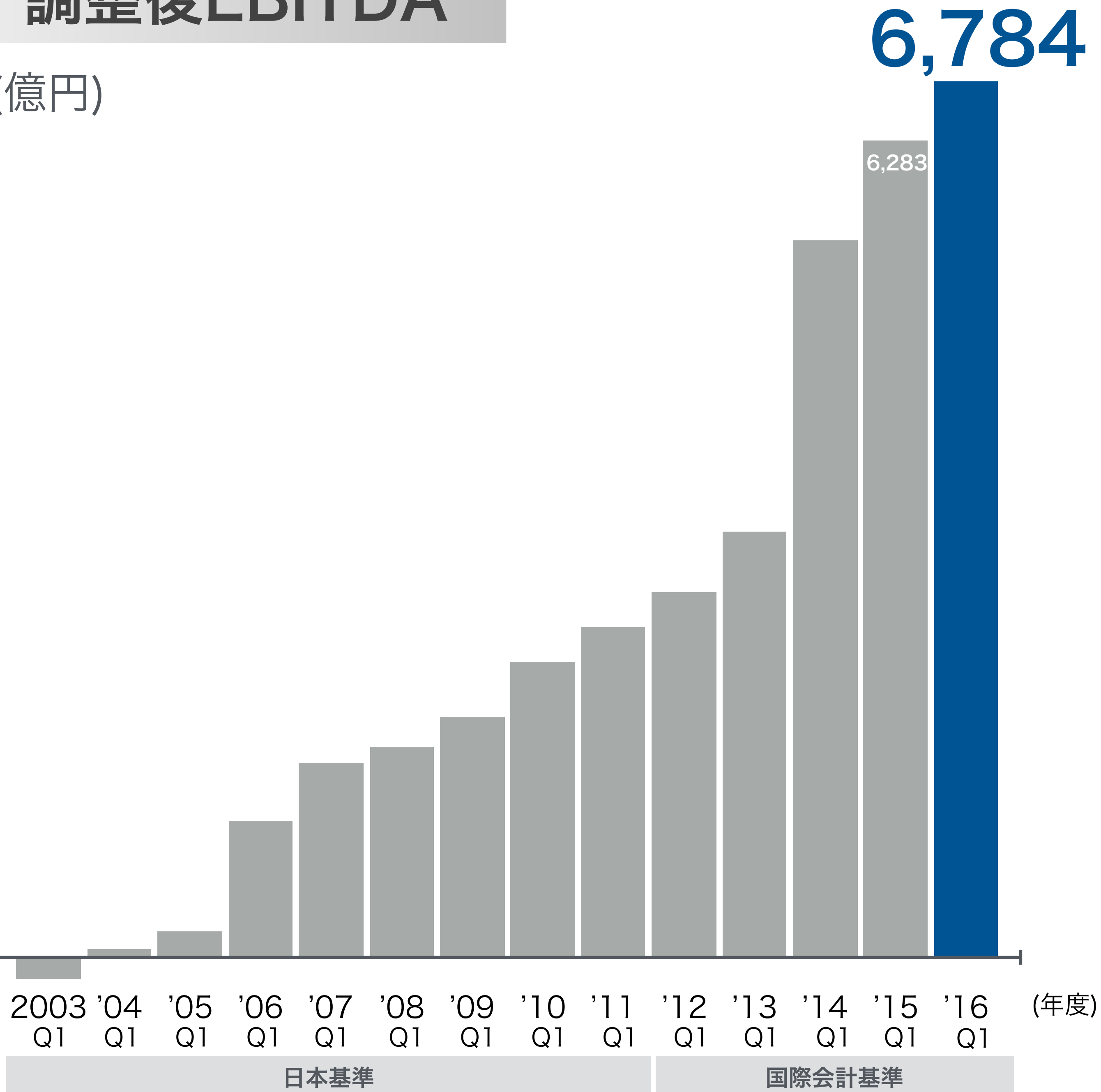
2015年度Q1：121.34円 / 米ドル

2016年度Q1：109.07円 / 米ドル

流通他=流通+その他+調整額

調整後EBITDA

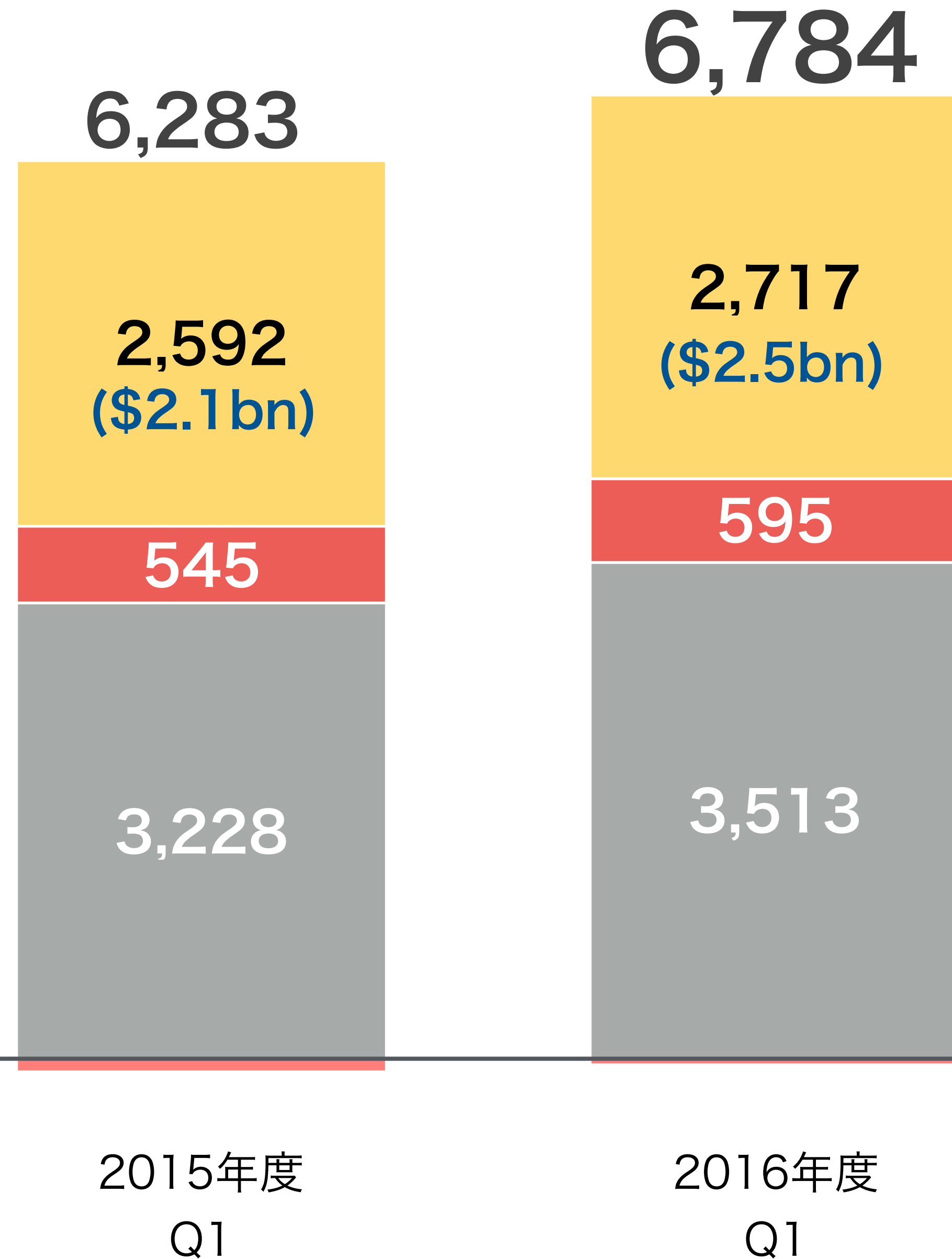
(億円)



13期連続 最高益

調整後EBITDA

(億円)



スプリント 5%増

コスト削減が奏功

円高影響(-306億円)

ドルベースは17%増

ヤフー

国内通信

売上増加と

コスト削減が寄与

流通他

8%増

(為替レート)

2015年度Q1：121.34円 / 米ドル

2016年度Q1：109.07円 / 米ドル

流通他=流通+その他+調整額

営業利益

(億円)

3,192

3,186

11期連続 最高益

2003 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 (年度)
Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1 Q1

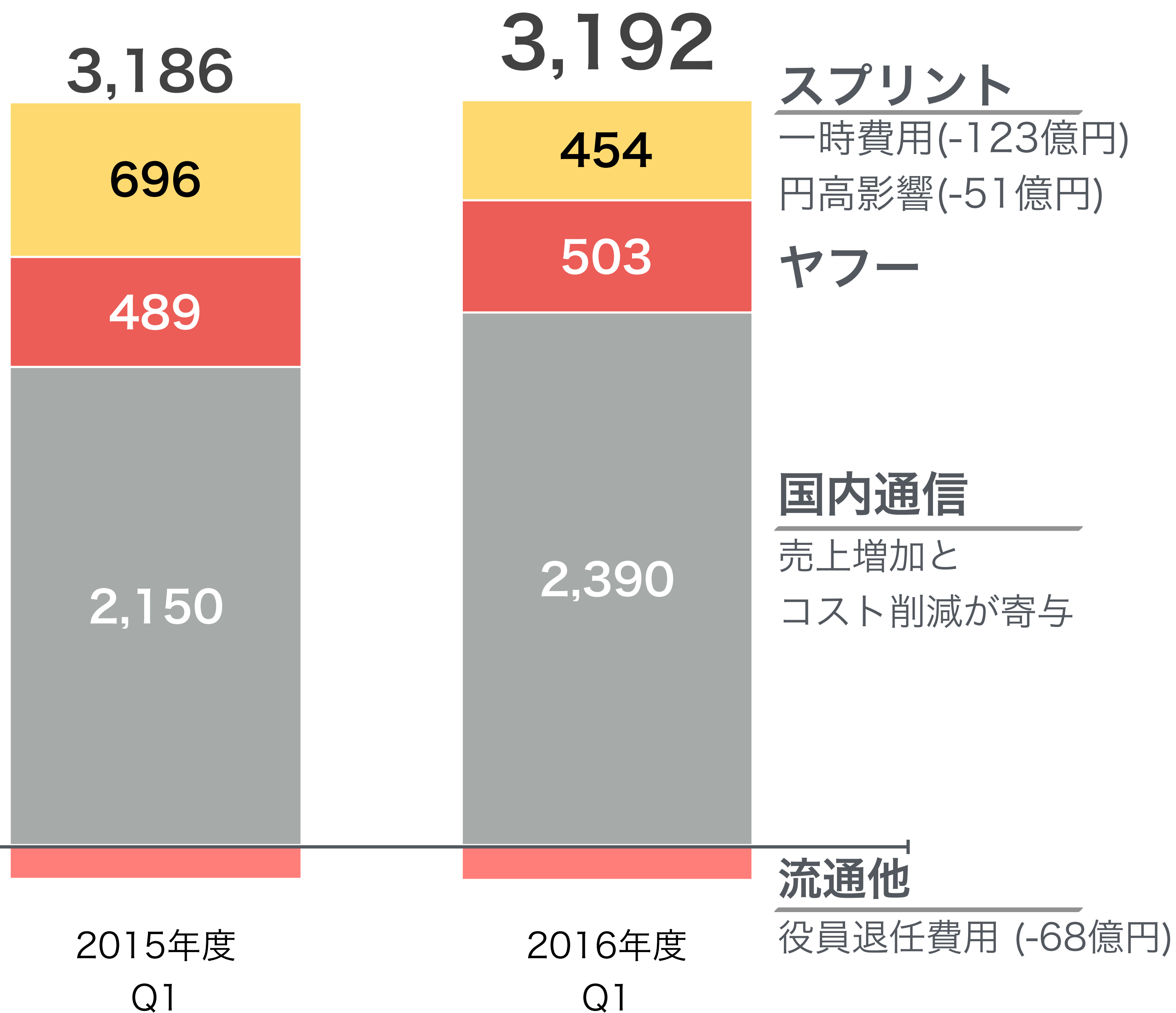
日本基準

国際会計基準

* 2013~2014年度：ガンホーおよびスーパーセルの影響額を控除 8

営業利益

(億円)



0.2%増

一時費用: 既存ホールセール契約の解除料

(為替レート)

2015年度Q1: 121.34円 / 米ドル

2016年度Q1: 109.07円 / 米ドル

流通他=流通+その他+調整額

財務の状況

純有利子負債 EBITDA倍率 (連結)

早期に低減へ

6.2倍 (ボーダフォン日本法人買収直後)



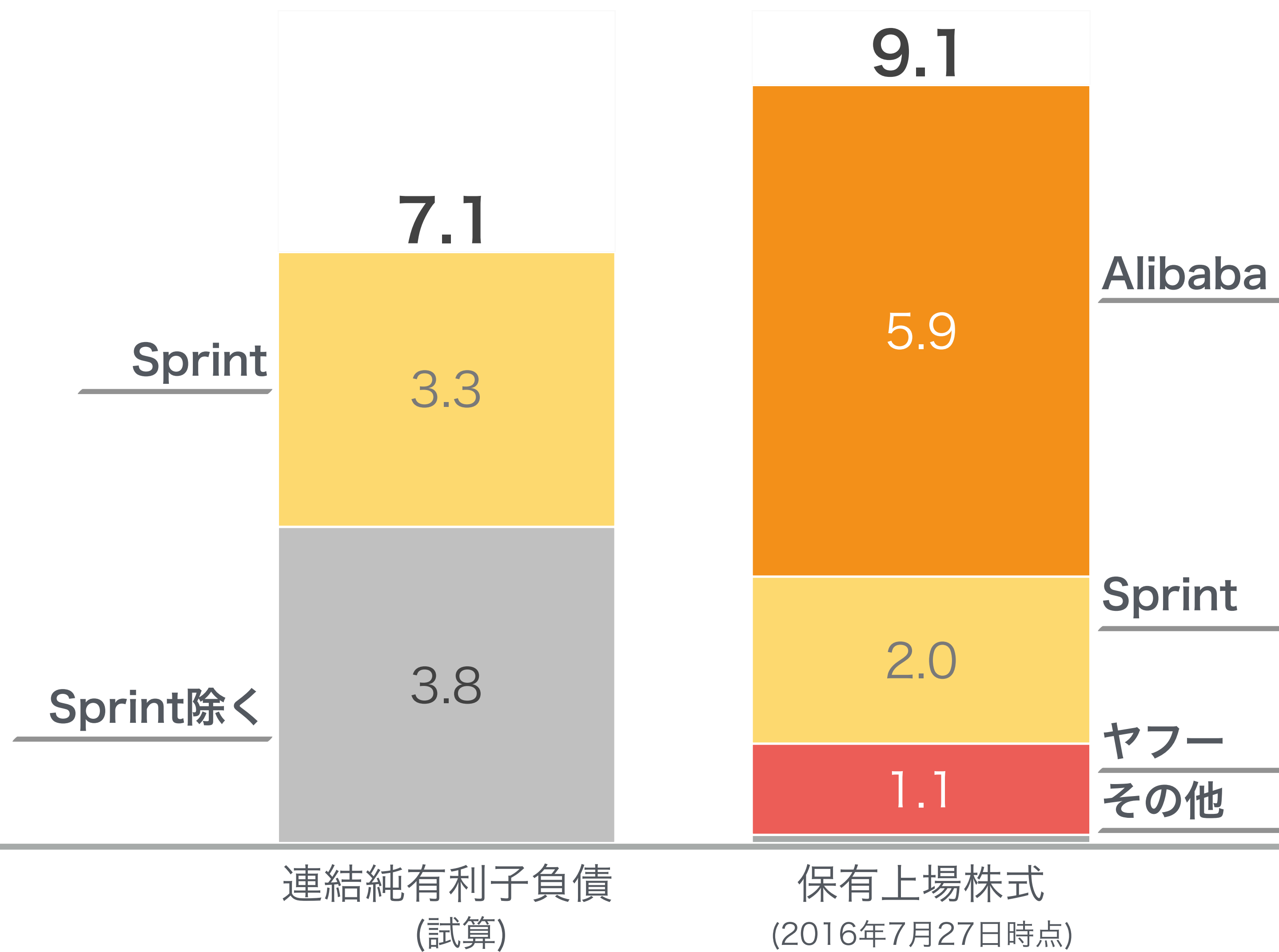
- 1. Supercell、ガンホー、Alibaba一部売却後
- 2. ARM買収後

06年 6月 07年 3月 08年 3月 09年 3月 10年 3月 11年 3月 12年 3月 13年 3月 14年 3月 15年 3月 16年 3月 16年 6月 (試算)

*1 2014年度の調整後EBITDAは、ガンホーの持分法適用関連会社への異動に伴う遡及修正をした数値
*2 2011年度まで：日本基準、ファイナンス・リースおよび優先出資証券含む
(注) 株式先渡契約前受金を有利子負債から除いて算出。

連結純有利子負債と保有上場株式

Supercell、ガンホー、アリババ株の一部資金化等による2兆円を考慮後 (ARM買収前)
(兆円)



主要セグメントの状況

Sprint



YAHOO!
JAPAN

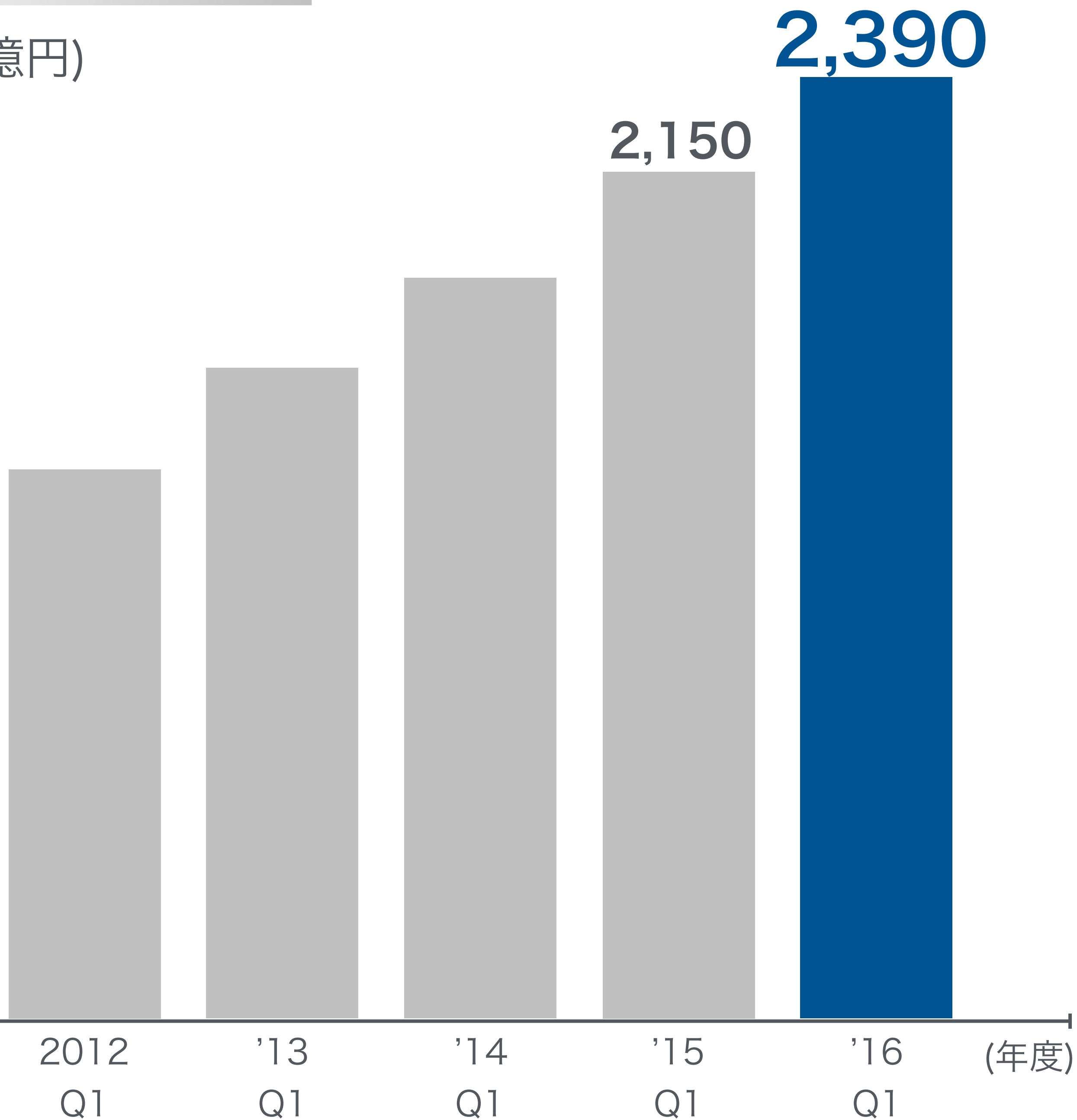
 SoftBank
投資資産

ハイライト

1. 業績は好調 (営業利益 +11%)
2. スマホ・光を中心に成長加速
3. 2016年度 FCF 5,000億円へ

営業利益

(億円)



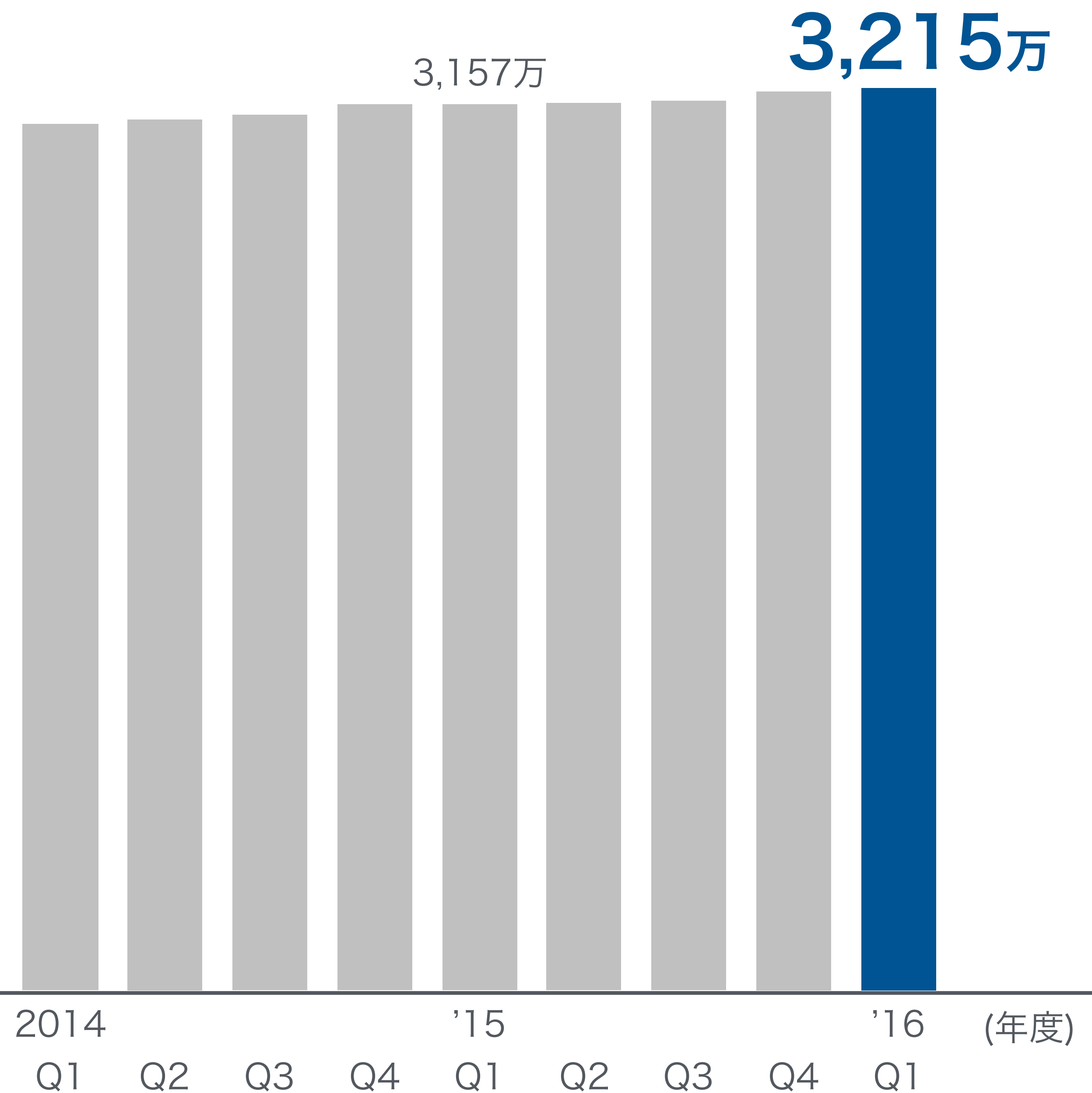
順調に成長

*2012~2016年度：国際会計基準

2014年度以降：国内通信事業

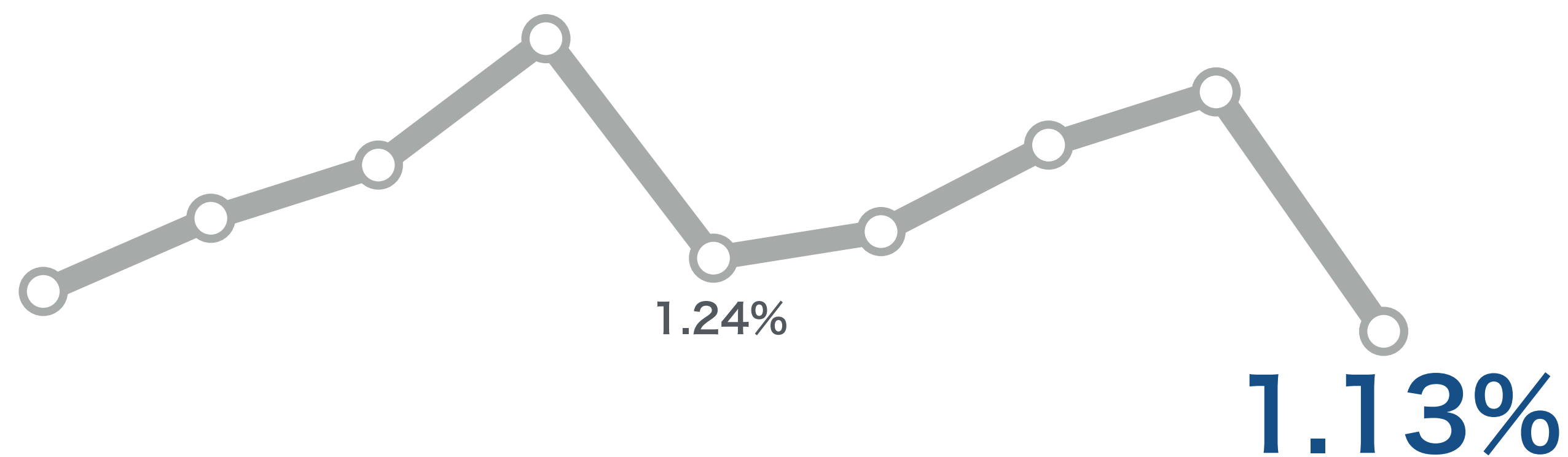
2013年度以前：移動通信事業 + 固定通信事業 + ブロードバンド・インフラ事業 15

累計契約数 (主要回線)



堅調に推移

前期比 +58万



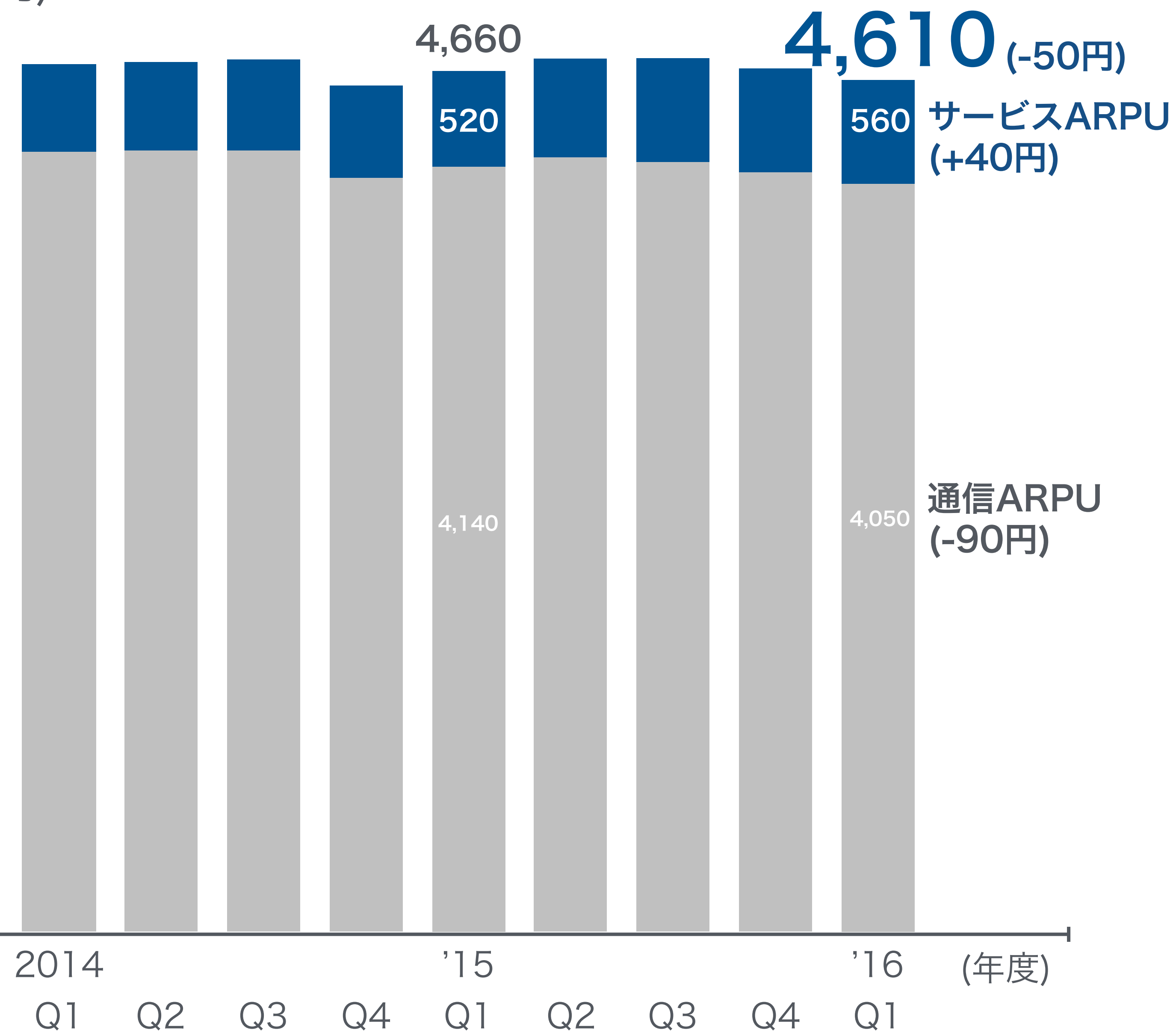
大幅に改善

”SoftBank”ブランドが改善

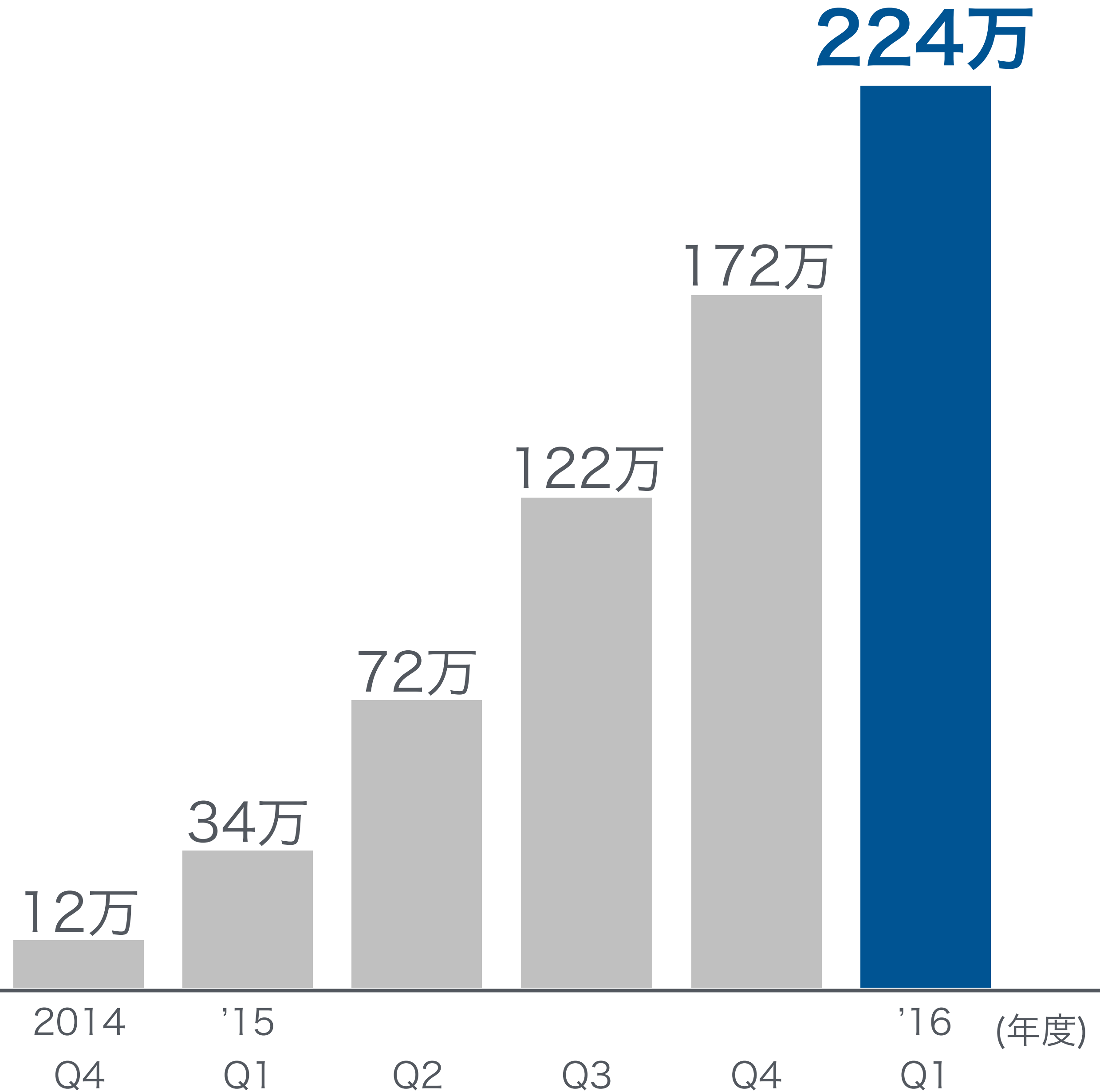
(光バンドルサービス効果等)

ARPU (主要回線)

(円)



サービスは増加
(通信は減少)

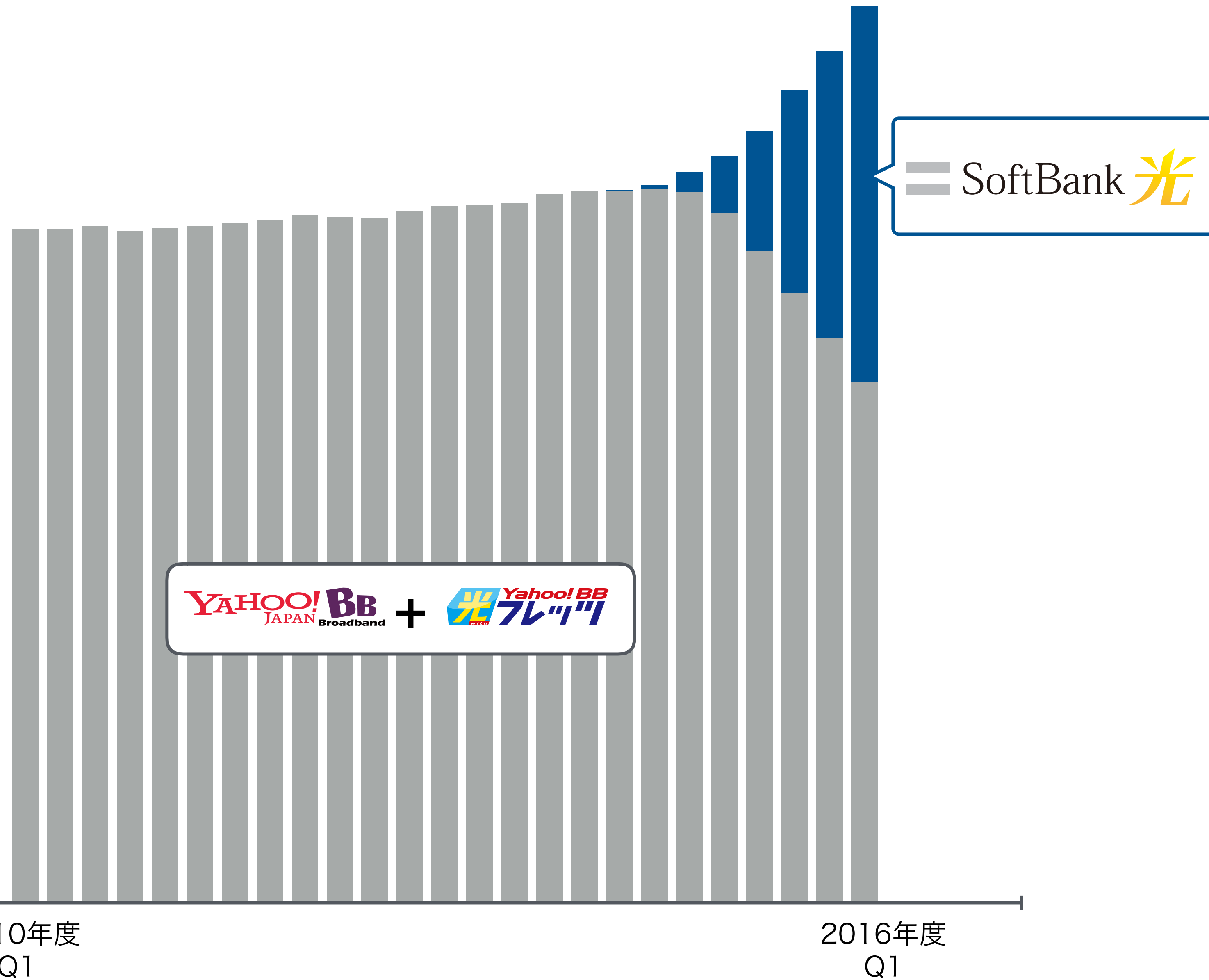


急成長

SoftBank **光**

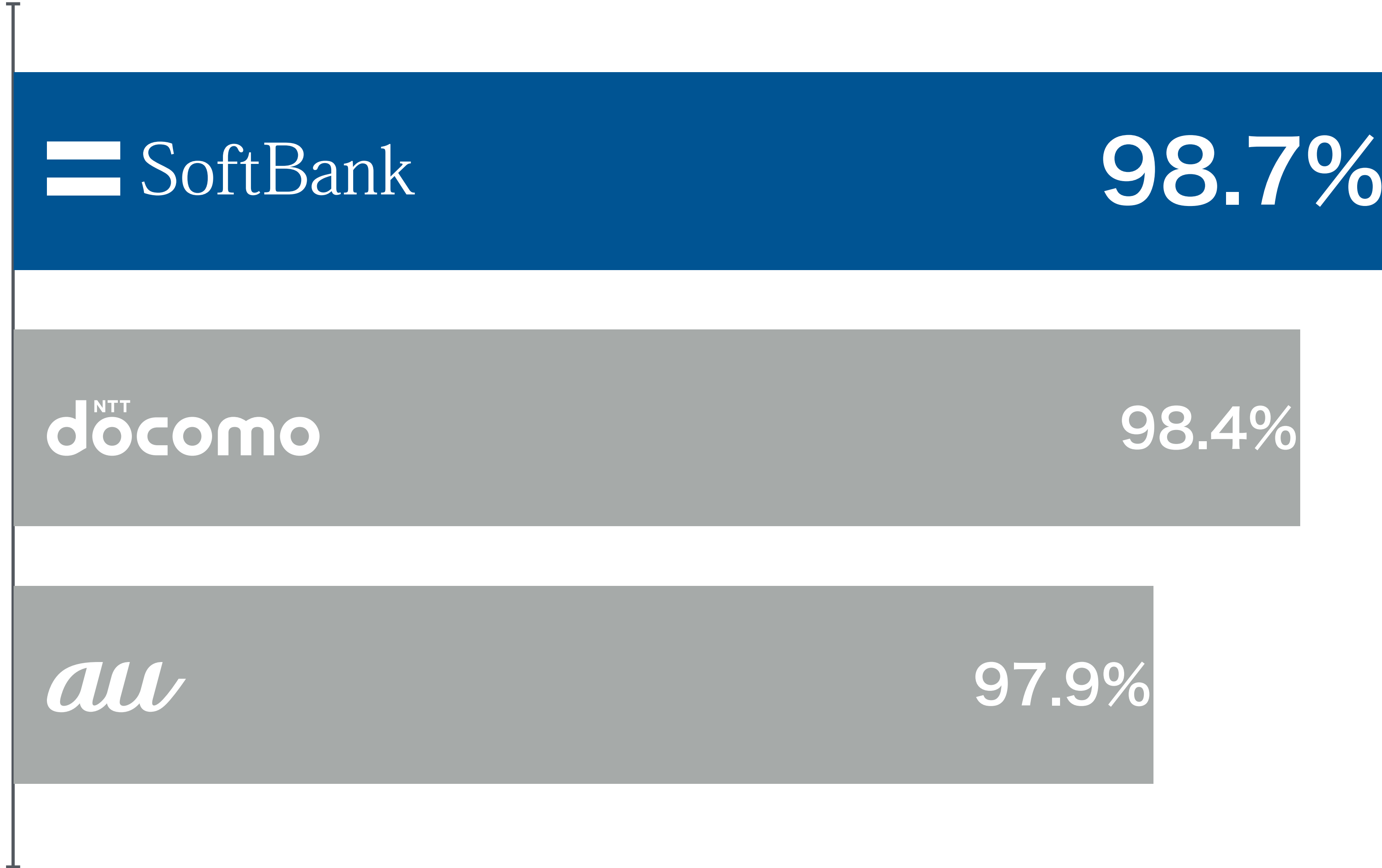
535万件

過去最高を 更新



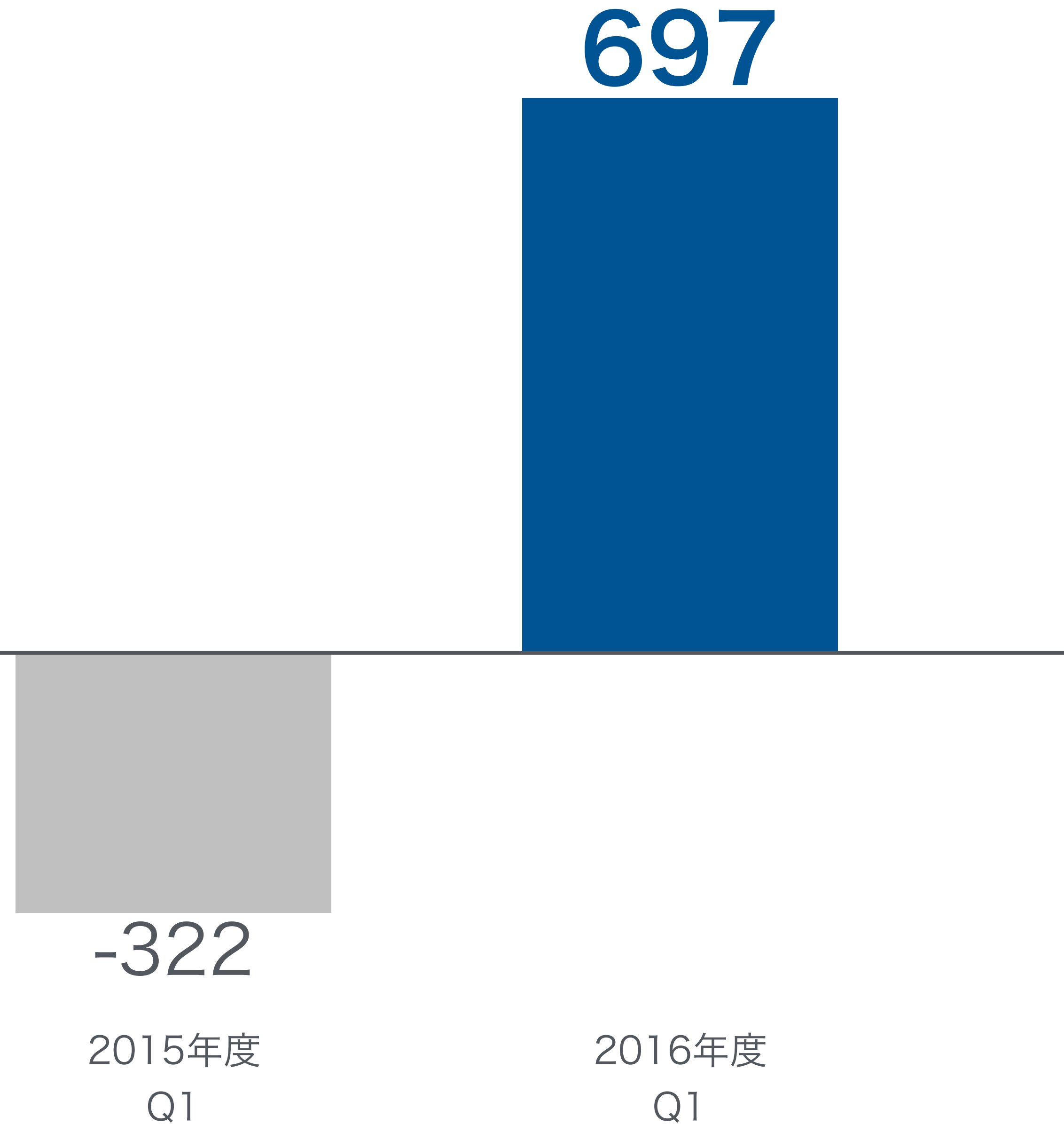
過去最高：2006年11月 517万

* SoftBank 光の契約数はSoftBank Airを含む



No.1

(億円)



大幅に増加

スマホ・光を中心に収益機会を創出





1

増益を継続 (12期連続増益へ)

2

FCF 5,000億円へ

3

スマホ・光に注力

4

ヤフーとのシナジー/新領域を拡大



ハイライト

1. 業績は好調 (調整後EBITDA +18%)
2. 反転戦略が順調に進展
3. 2016年度 調整後FCF ゼロ近辺へ

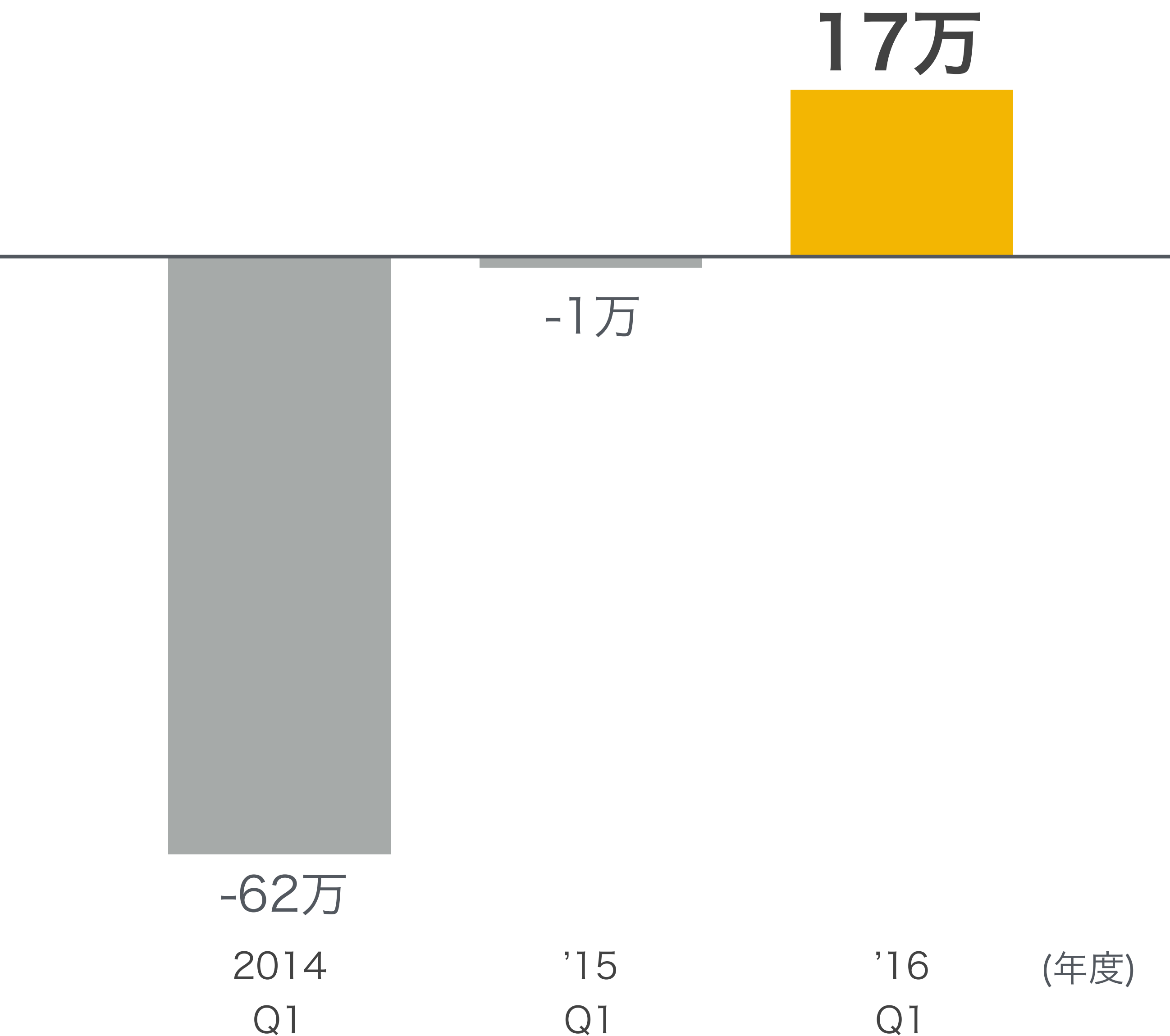
反転への戦略

純増の改善
売上の安定化

OPEX削減

多様な調達手段

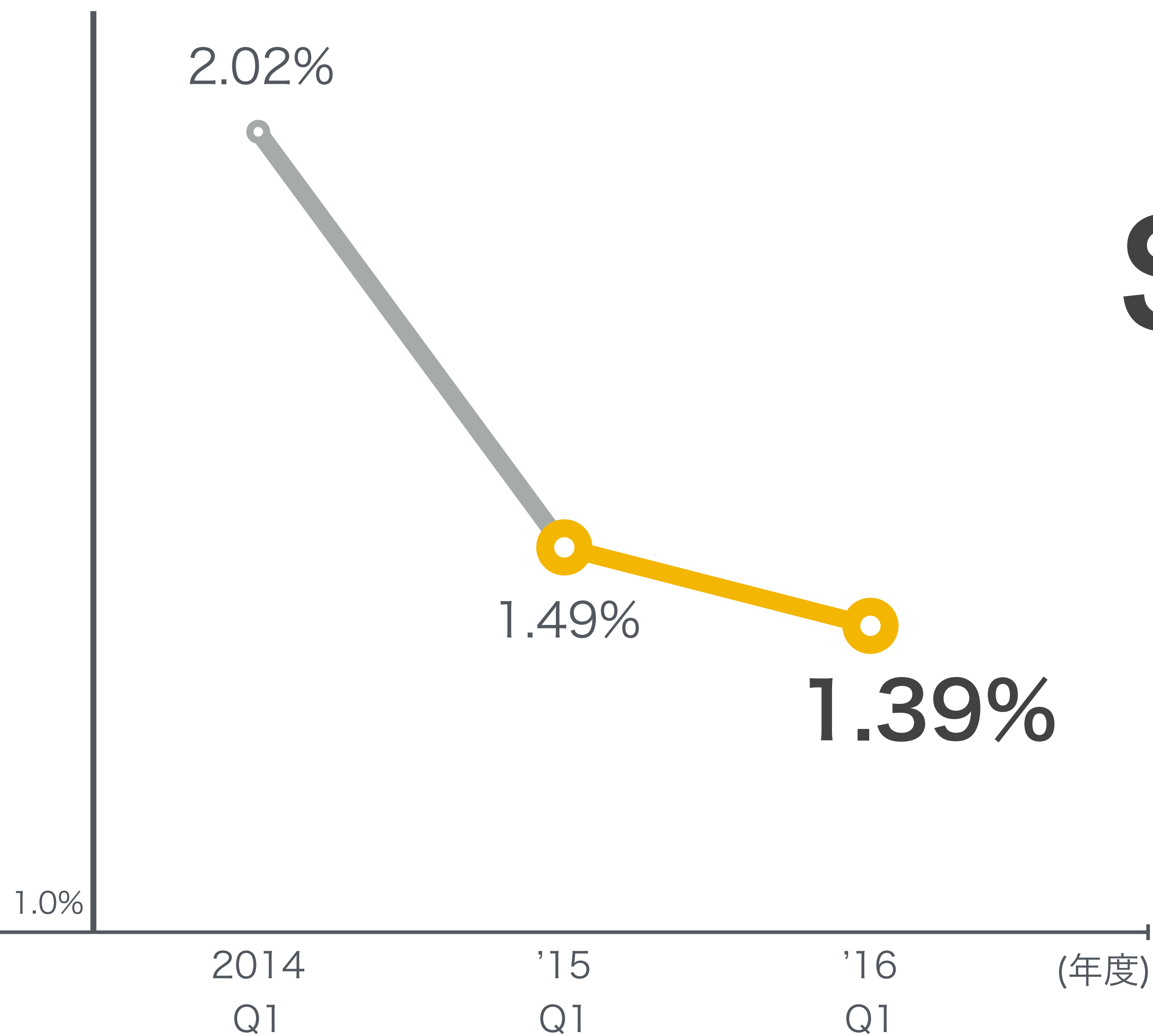
ネットワーク改善



過去9年で最高
過去5年で初のMNP純増

*Q1：4月～6月
*過去9年：ネクステルからの移行を除く第1四半期として
*MNP純増：大手競合3社からのMNP
*スプリントプラットフォーム (Shentel取引影響を除く)

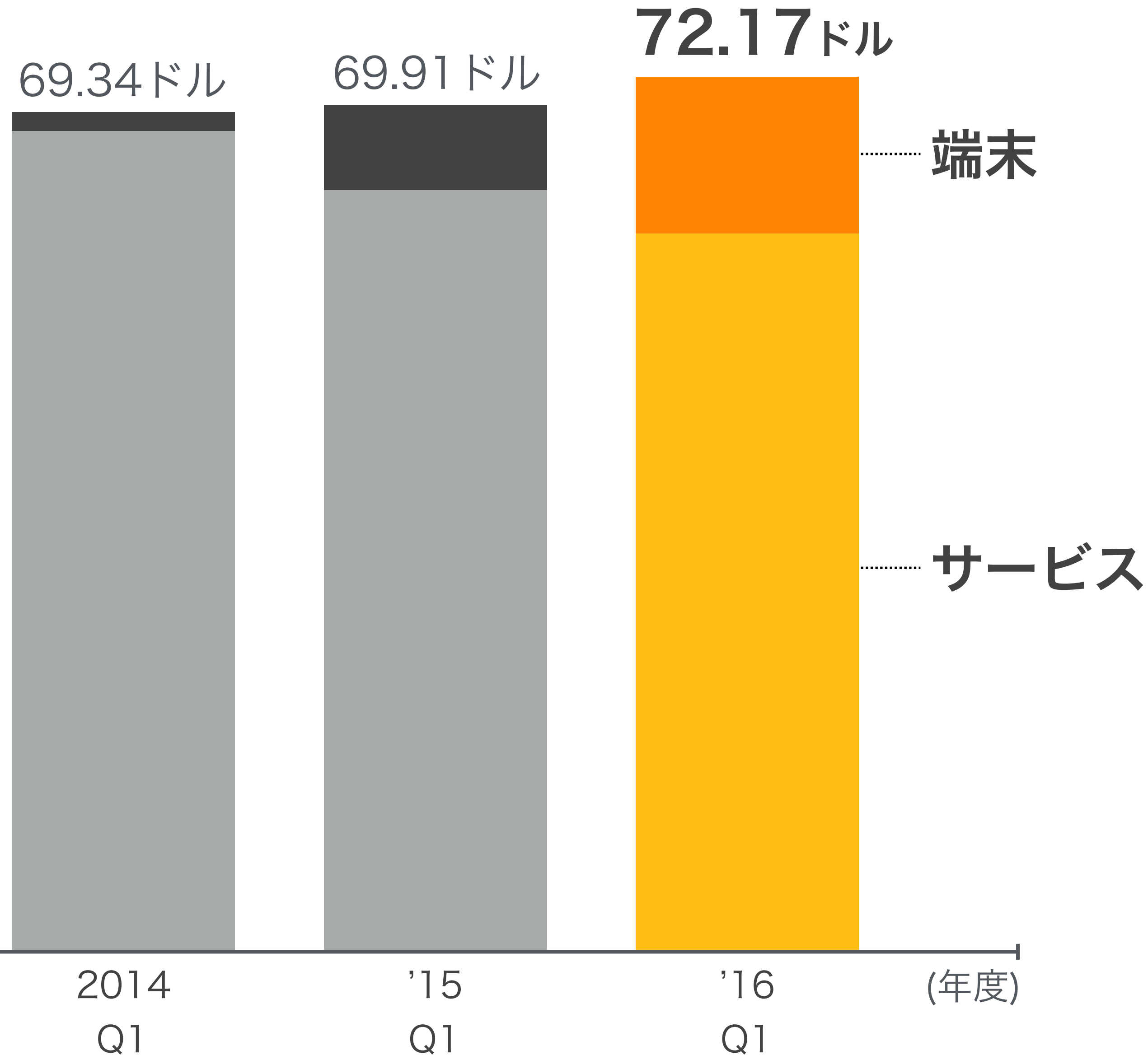
Sprint史上最小



ABPU: Average Billing Per User (ポストペイド携帯電話)



[1人当たり支払額]



継続的に増加

前期比 +3%

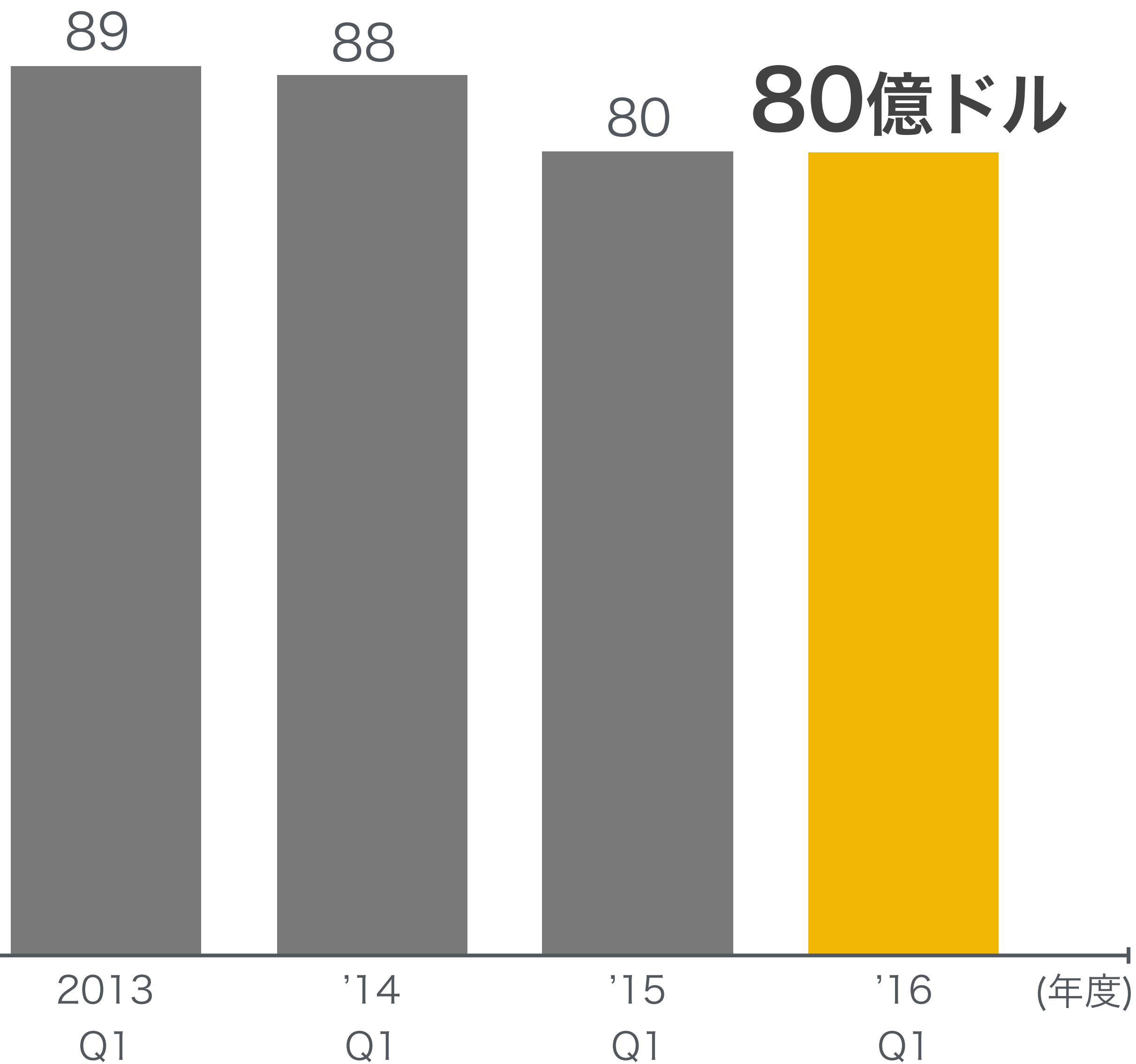
*Q1: 4月~6月

*スプリントプラットフォーム 29

売上高



米国会計基準 (億ドル)

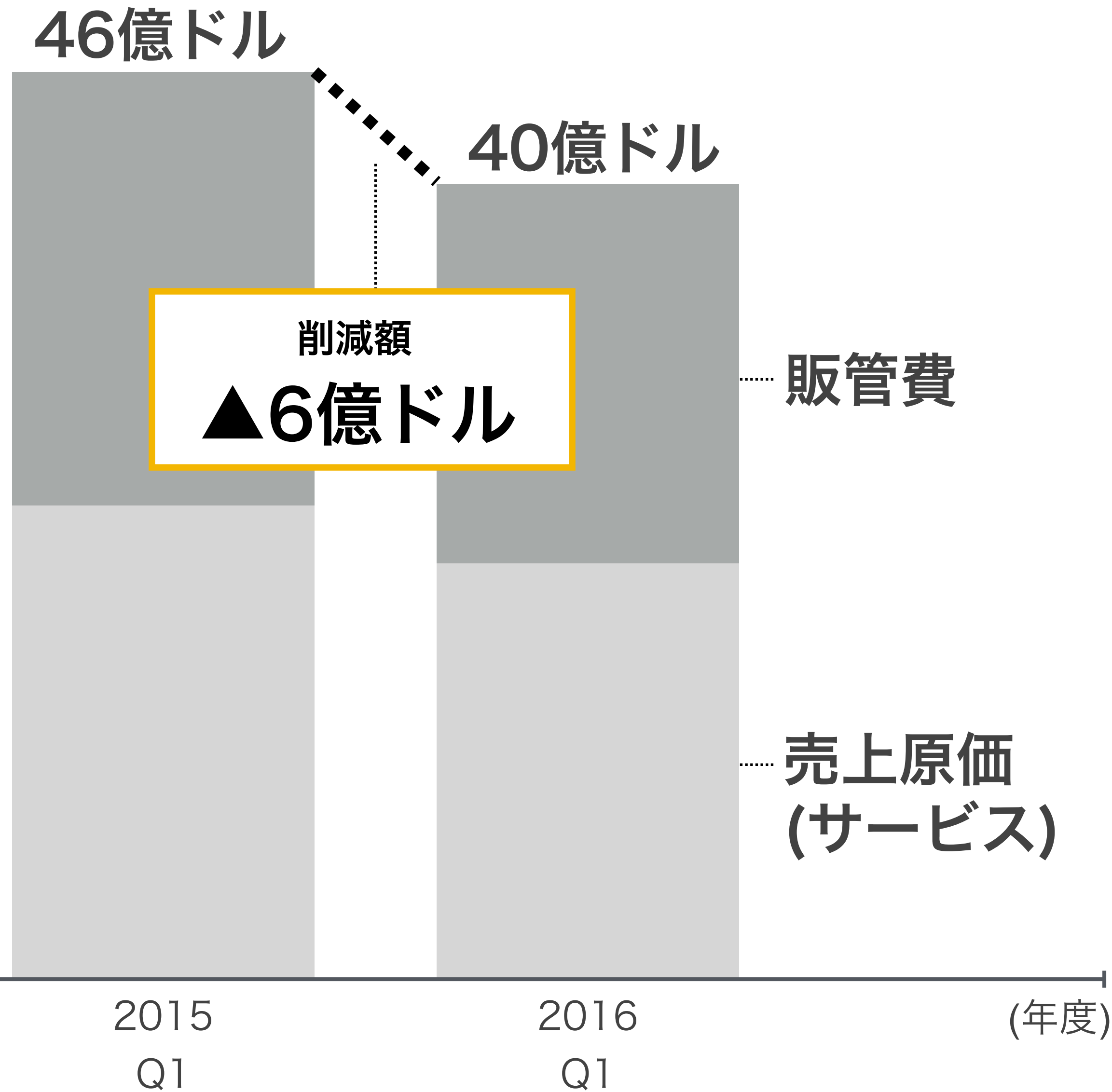


安定化

コスト削減



米国会計基準 (億ドル)



順調に削減

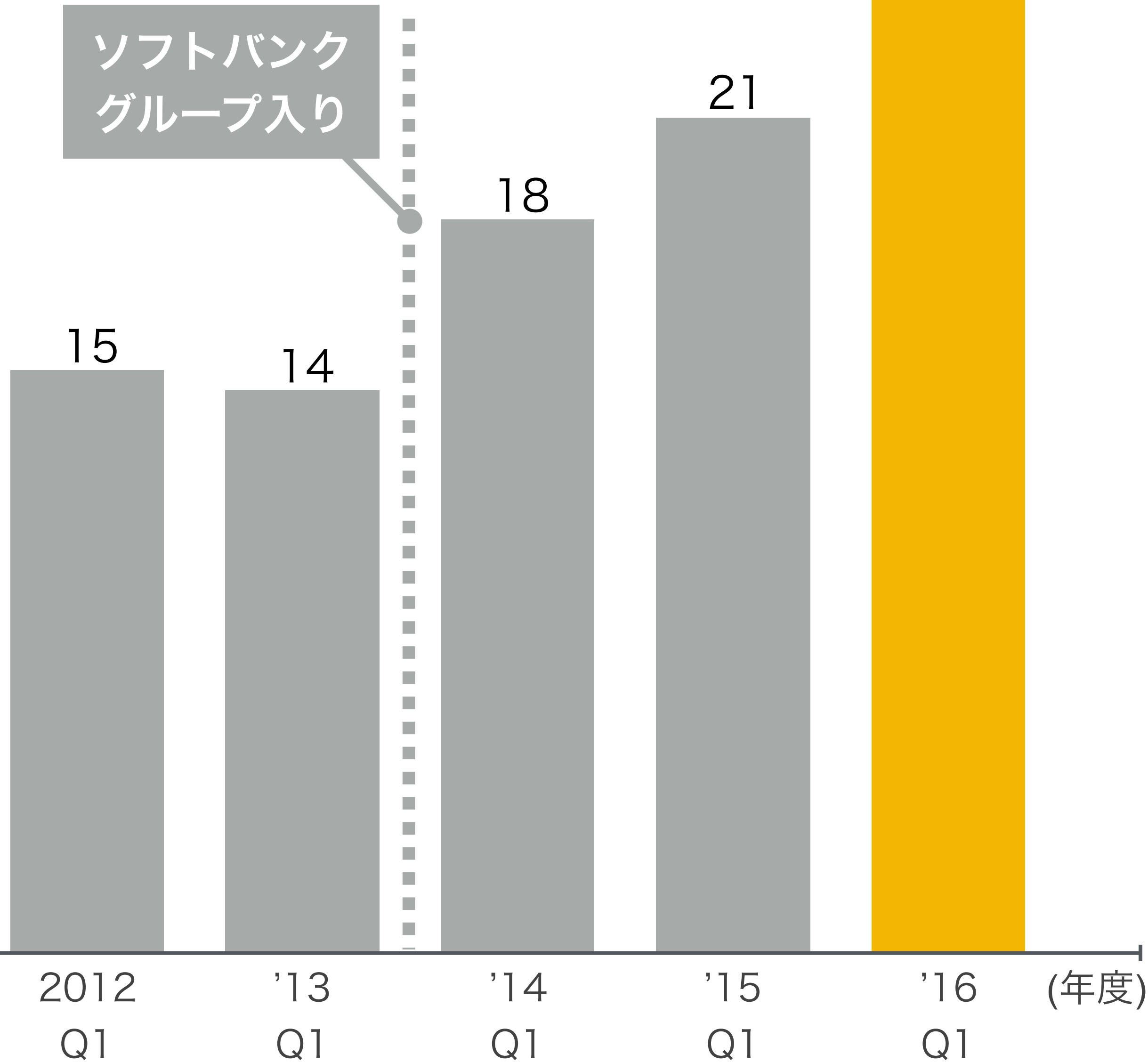
調整後EBITDA



米国会計基準 (億ドル)

25億ドル

18%増

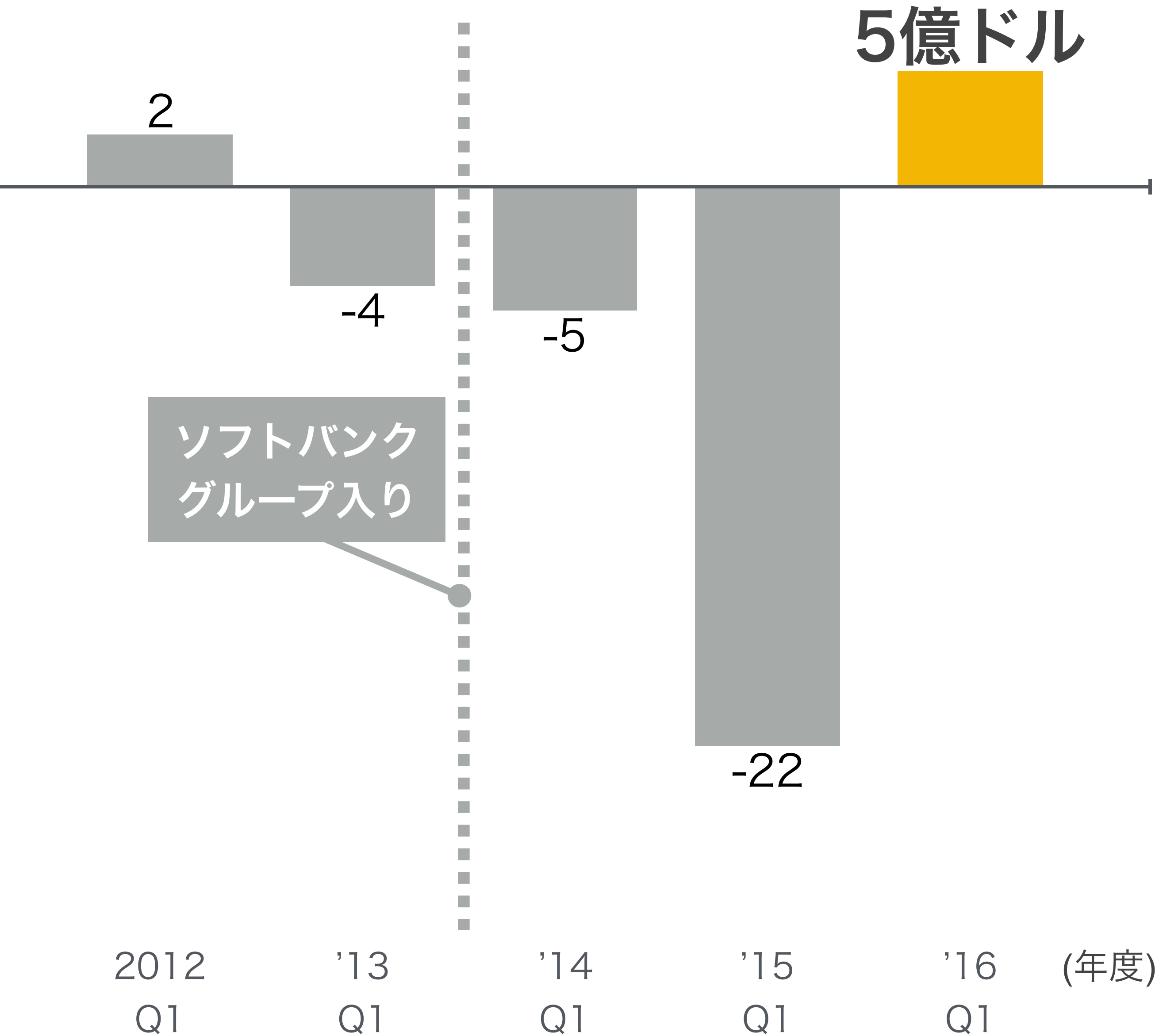


ソフトバンク
グループ入り

調整後フリーキャッシュフロー



米国会計基準 (億ドル)

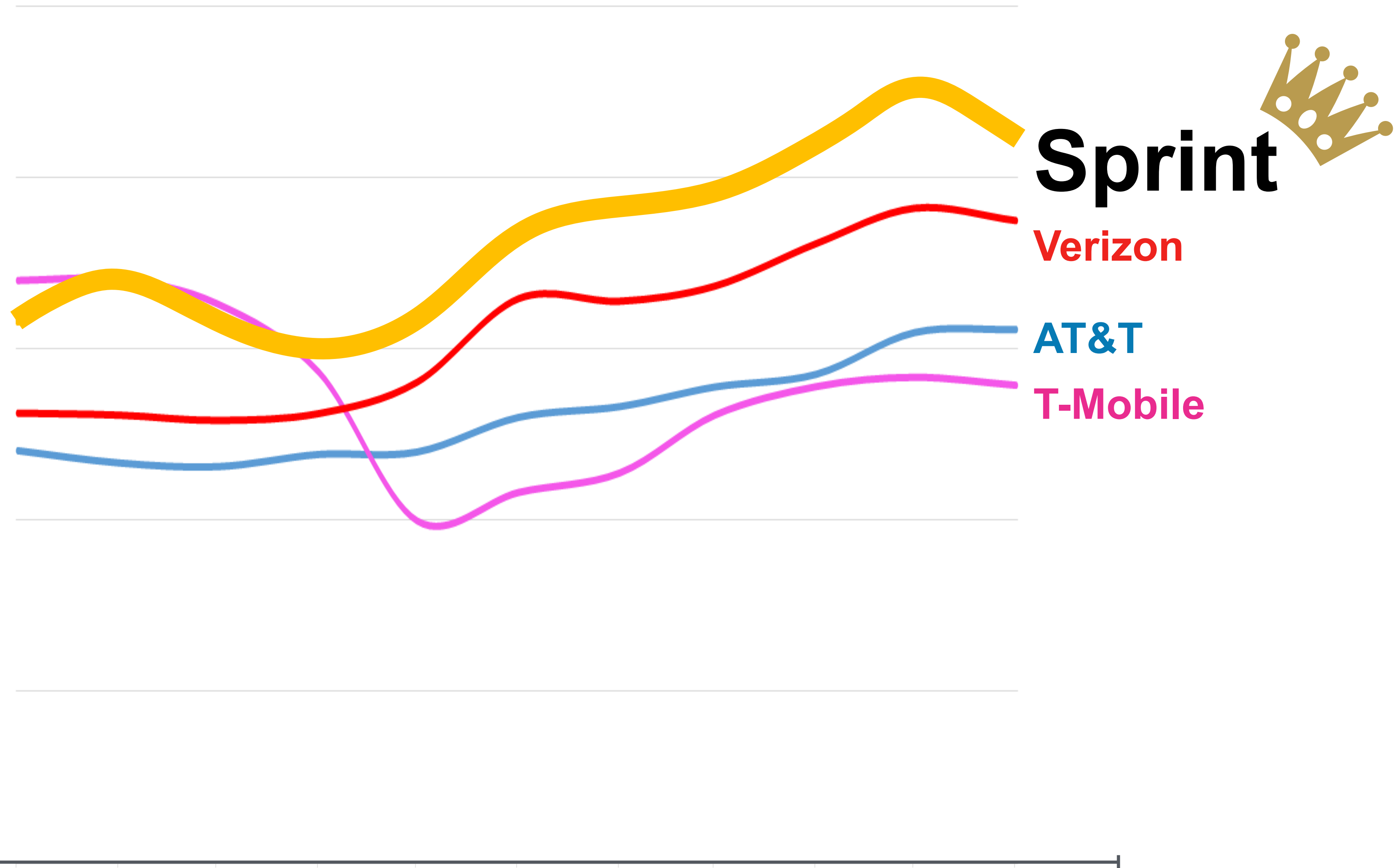


大幅に改善

*Q1 : 4月~6月

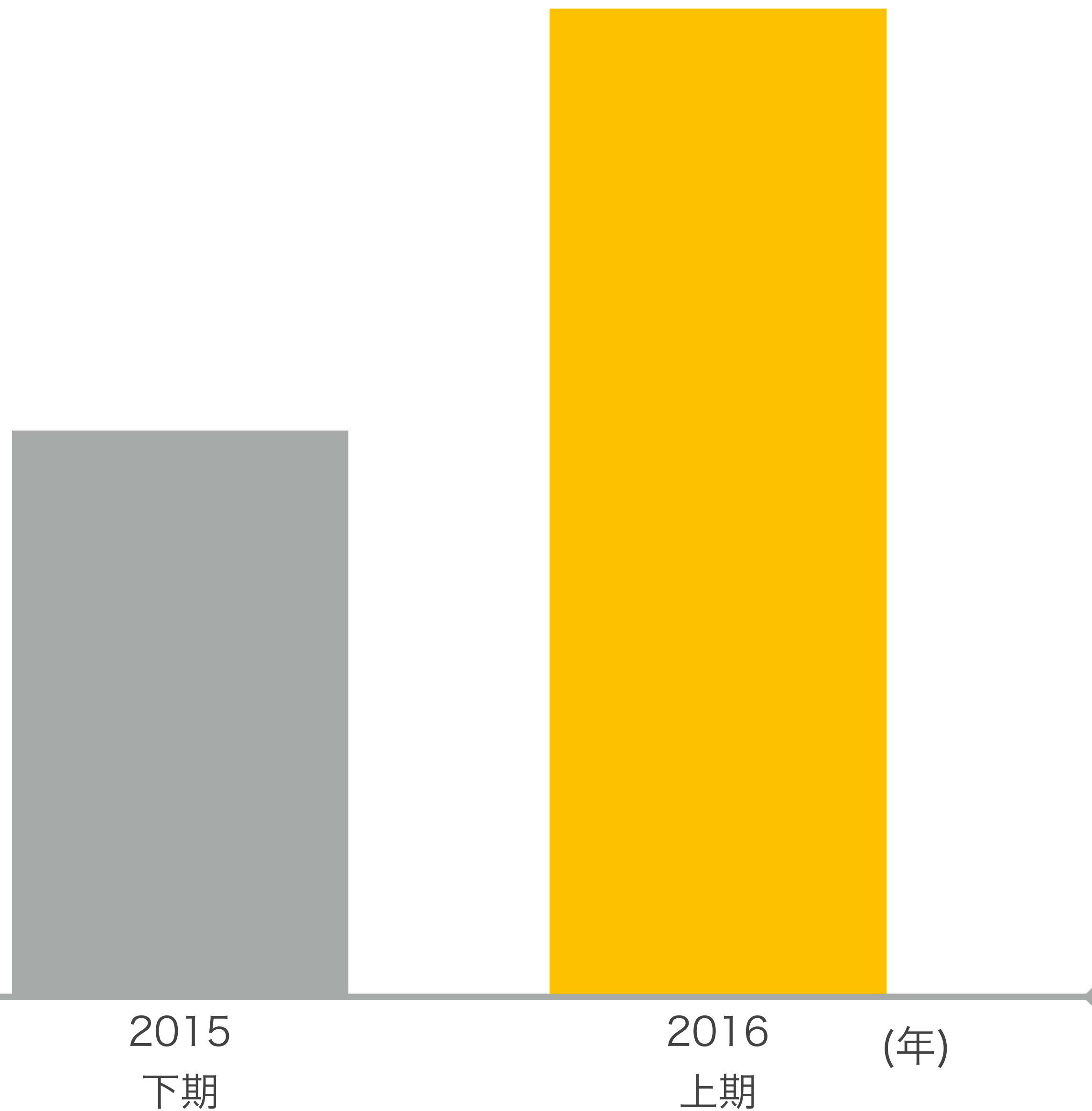
調整後FCF: 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー (短期投資除く)
+ 将来リース債権の売却による調達と返済の純額

LTEダウンロード実効速度



速度 No.1

75%増

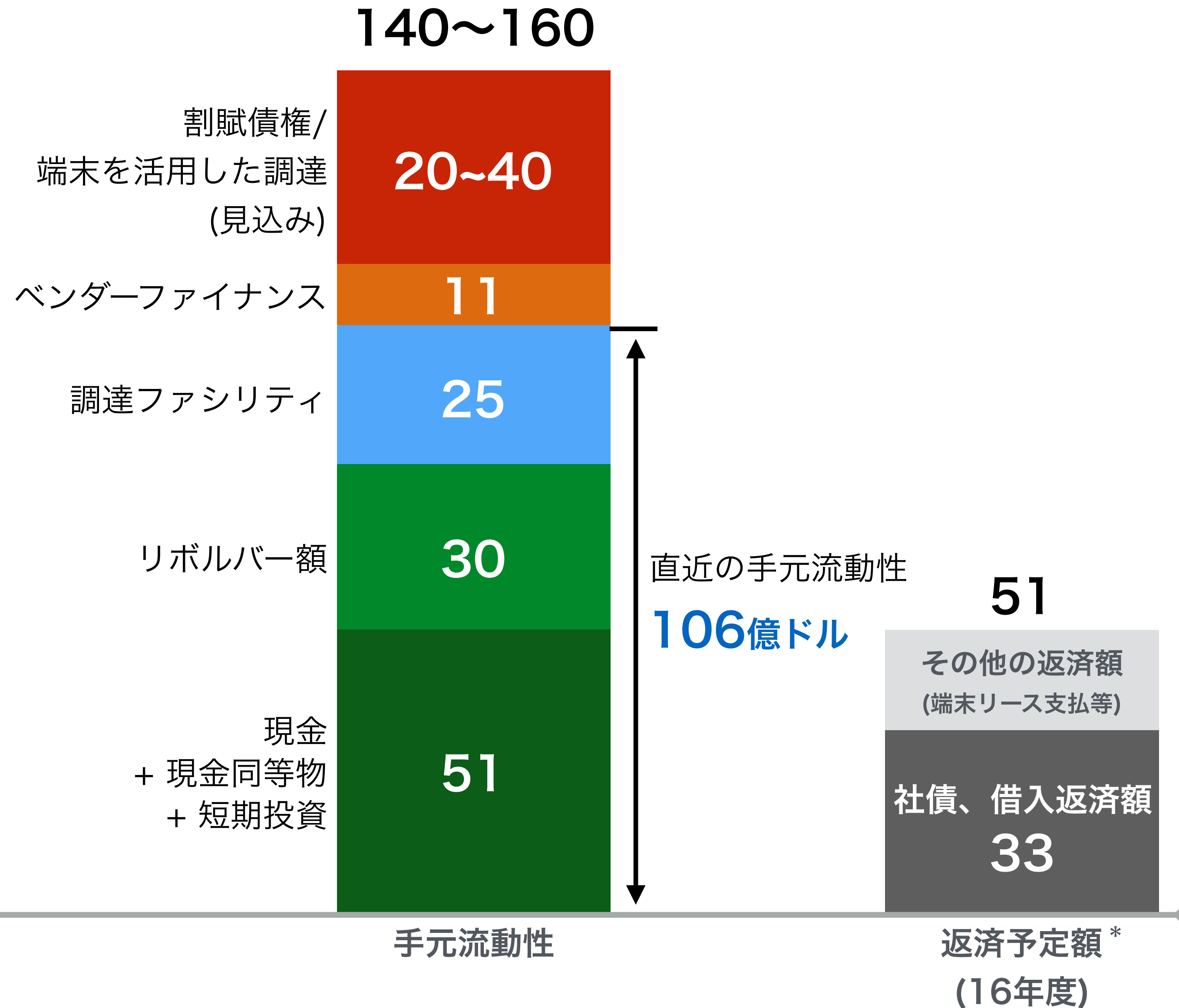


RootScore アワード (ネットワーク信頼性)
125の都市圏におけるネットワーク信頼性に係る指数のうち、
1位または同率1位だった指数の数

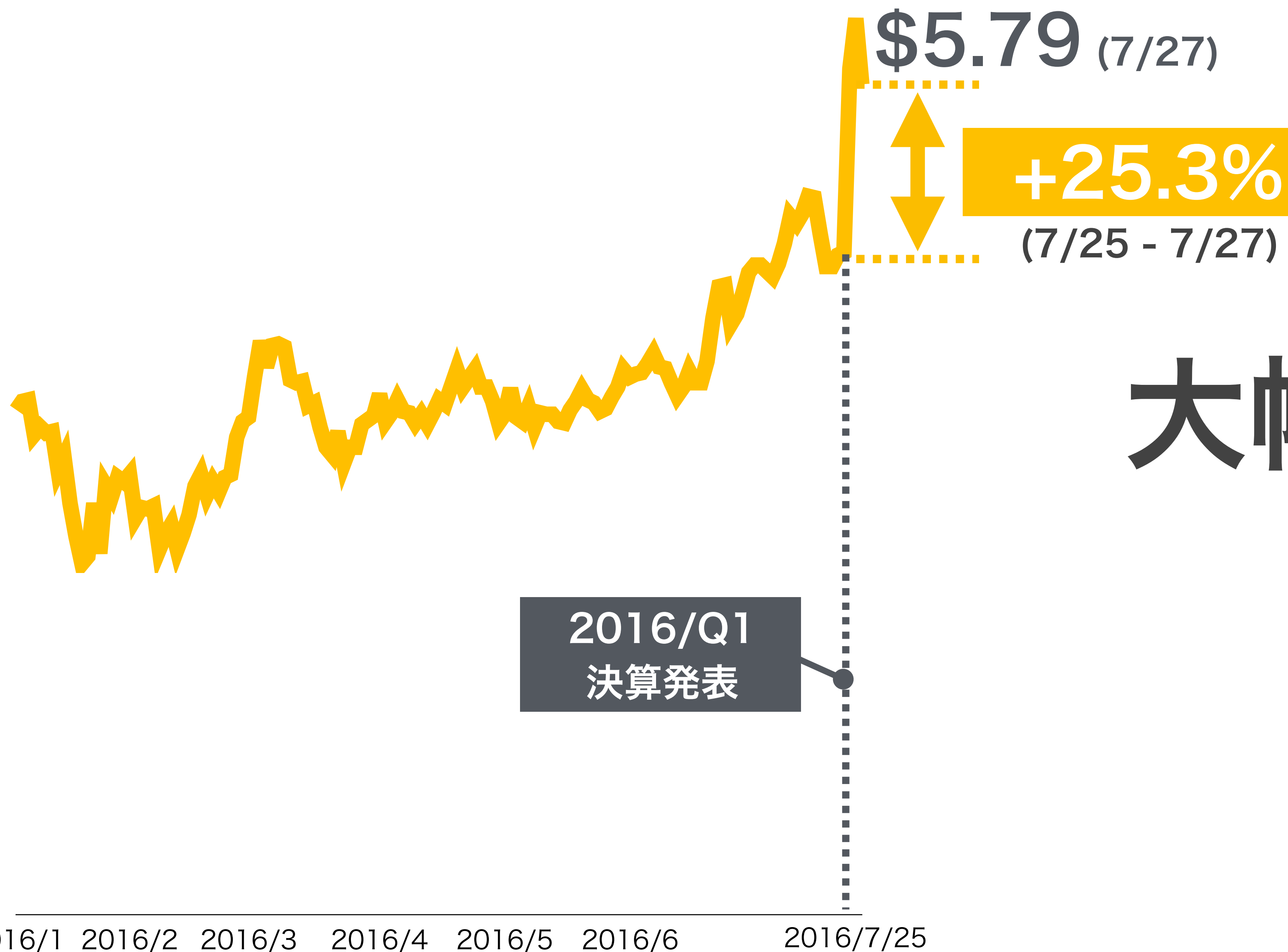
手元流動性



米国会計基準 (億ドル)



十分な水準



大幅に増加

2016/Q1
決算発表

Sprint 取得原価



1.95兆円

2.01兆円 (+0.07兆円)

平均株価 6.90ドル
(平均為替1ドル85.2円)

株価 5.79ドル
(為替1ドル105.0円)

取得原価

現在
(2016/7/27)

* 取得原価に付随費用を含まない
(為替レート) 105.0円 / 米ドル



1

調整後EBITDA 95～100億ドル

2

営業利益 10～15億ドル

3

キャッシュCAPEX 約30億ドル

4

調整後FCF ゼロ近辺

キャッシュCAPEX: 間接販売チャンネルを通じて提供されるリース携帯端末の影響を除く

調整後FCF: 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー (短期投資除く) + 将来リース債権の売却による調達と返済の純額

ハイライト

1. 増益を継続
2. ディスプレイ広告が成長を牽引
3. ショッピング取扱高が急増 (+38%)

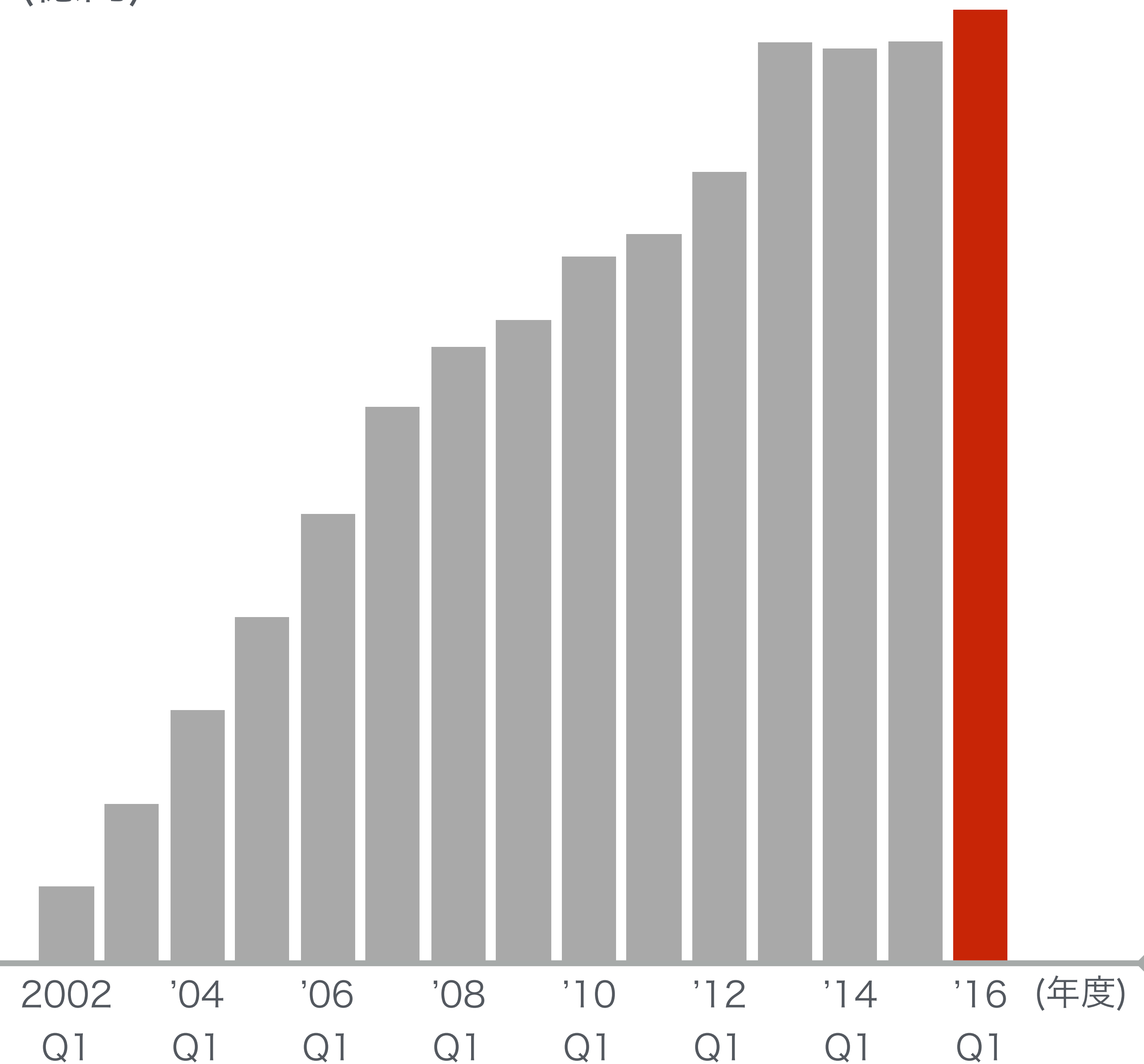
営業利益



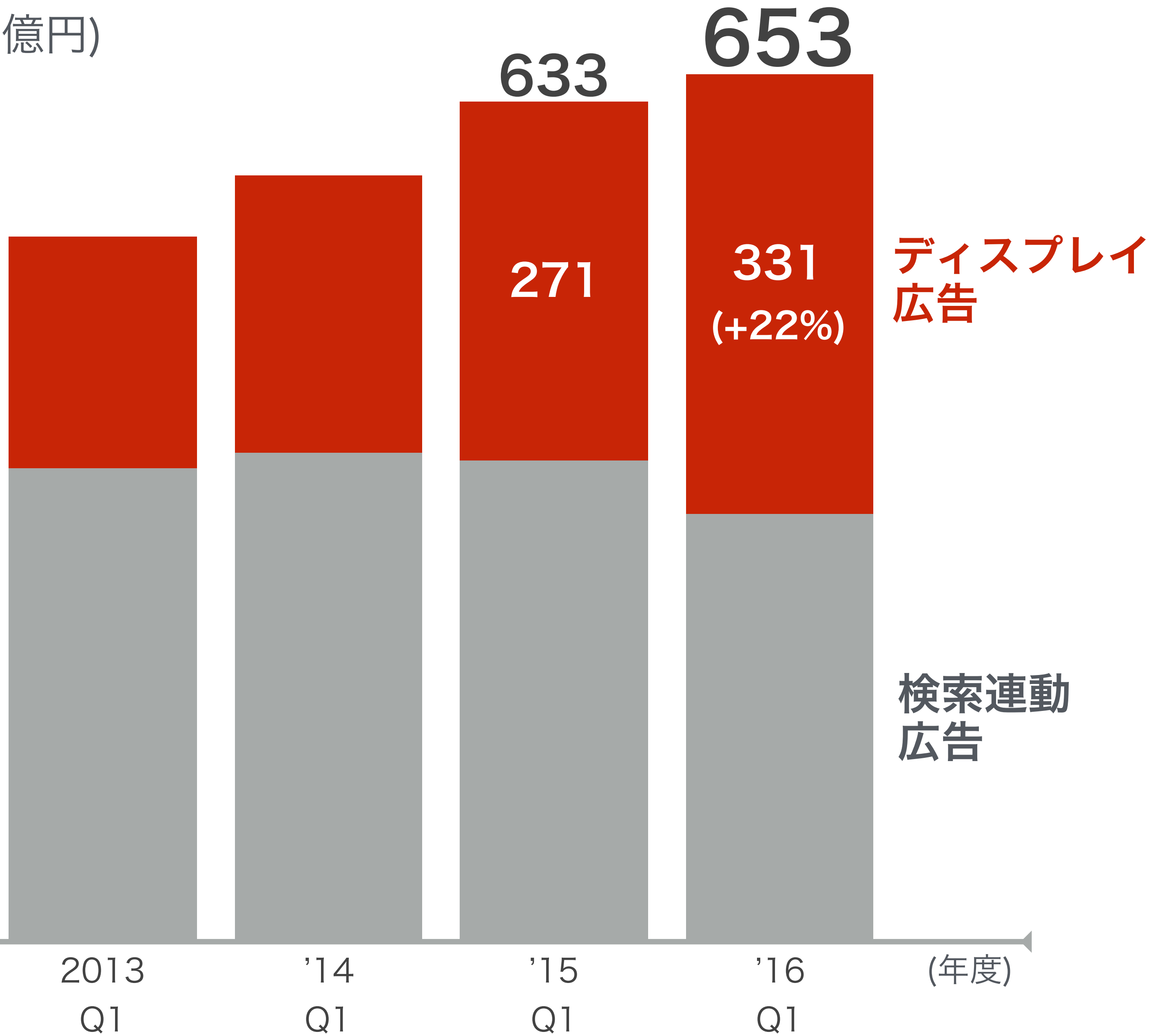
(億円)

508

増益を継続



(億円)



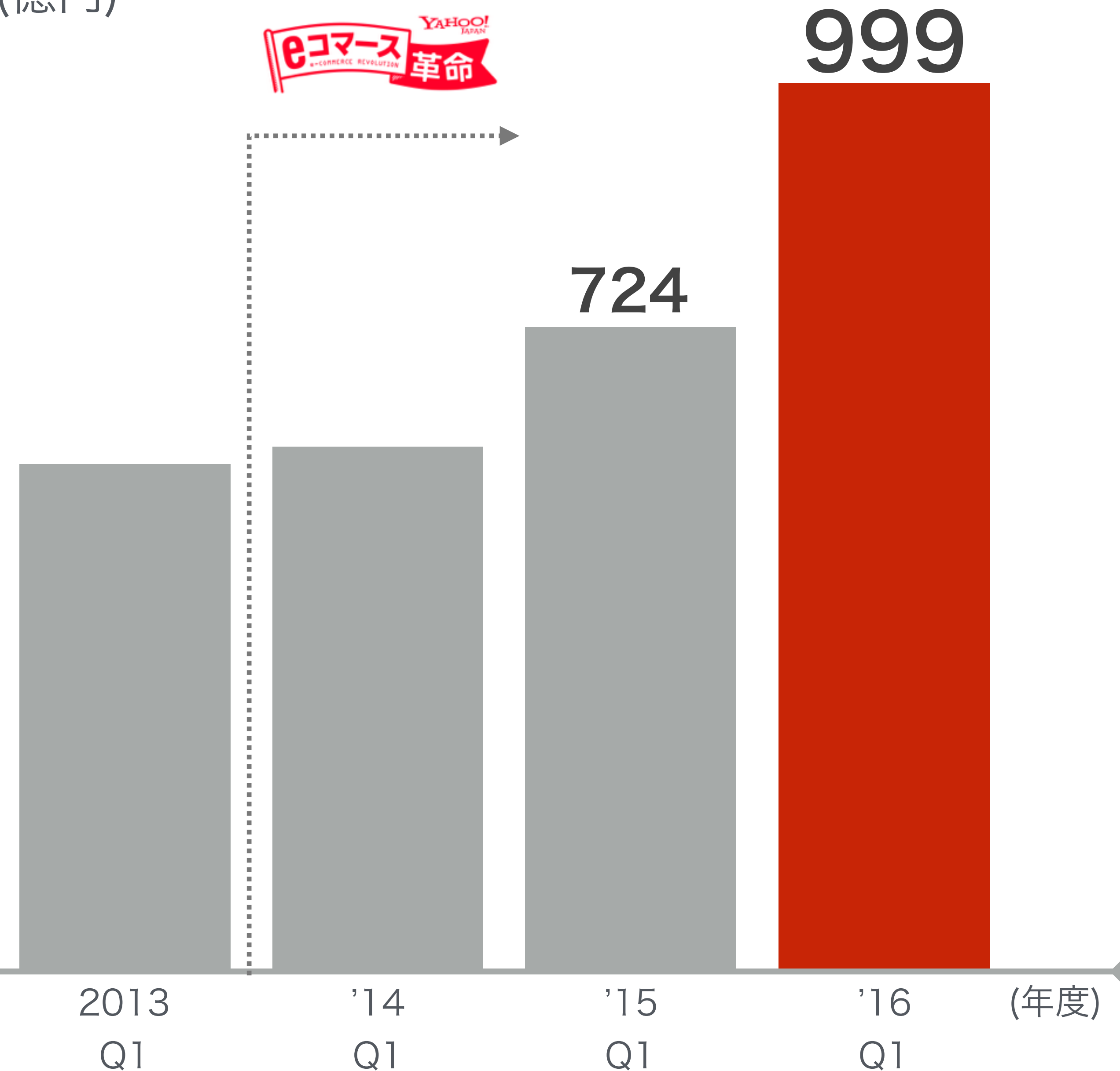
成長を牽引

ディスプレイ
広告

検索連動
広告

ショッピング事業 取扱高

(億円)



38%増

注: 「Yahoo!ショッピング」、「LOHACO」の取扱高です。
「LOHACO」は、アスクル(株)におけるLOHACO事業の売上高(取扱高、20日締め)です。



ハイライト

実績 172億ドルの回収で価値を顕在化

戦略 主要市場におけるマーケットリーダー

新規案件 Didi/SoFiへ追加投資
Supercell/ガンホーの回収
Alibaba株の資産再配分

*1. Alibaba株式の一部資金化(純額)：88億ドル；他社株強制転換証券の発行による調達額66億ドルのうち、当社グループ会社による株式先渡契約に基づく受領金額は約54億ドル

*2. Supercellの資金化：78億ドル；72%の株式を73億ドルで売却、売却完了前受領の配当額4億ドルを含む

*3. ガンホー株式の資金化；7億ドル；722億、1ドル=107円で換算

ポートフォリオ企業群



Eコマース



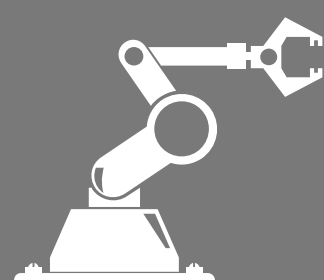
ライドシェア



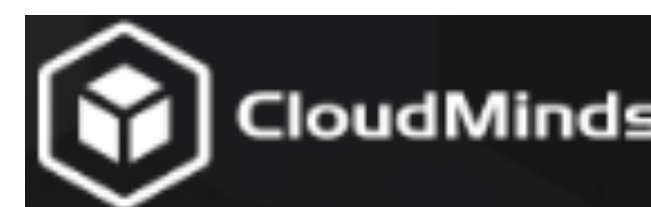
フィンテック



インターネット &
メディア



AI &
コネクテッドデバイス

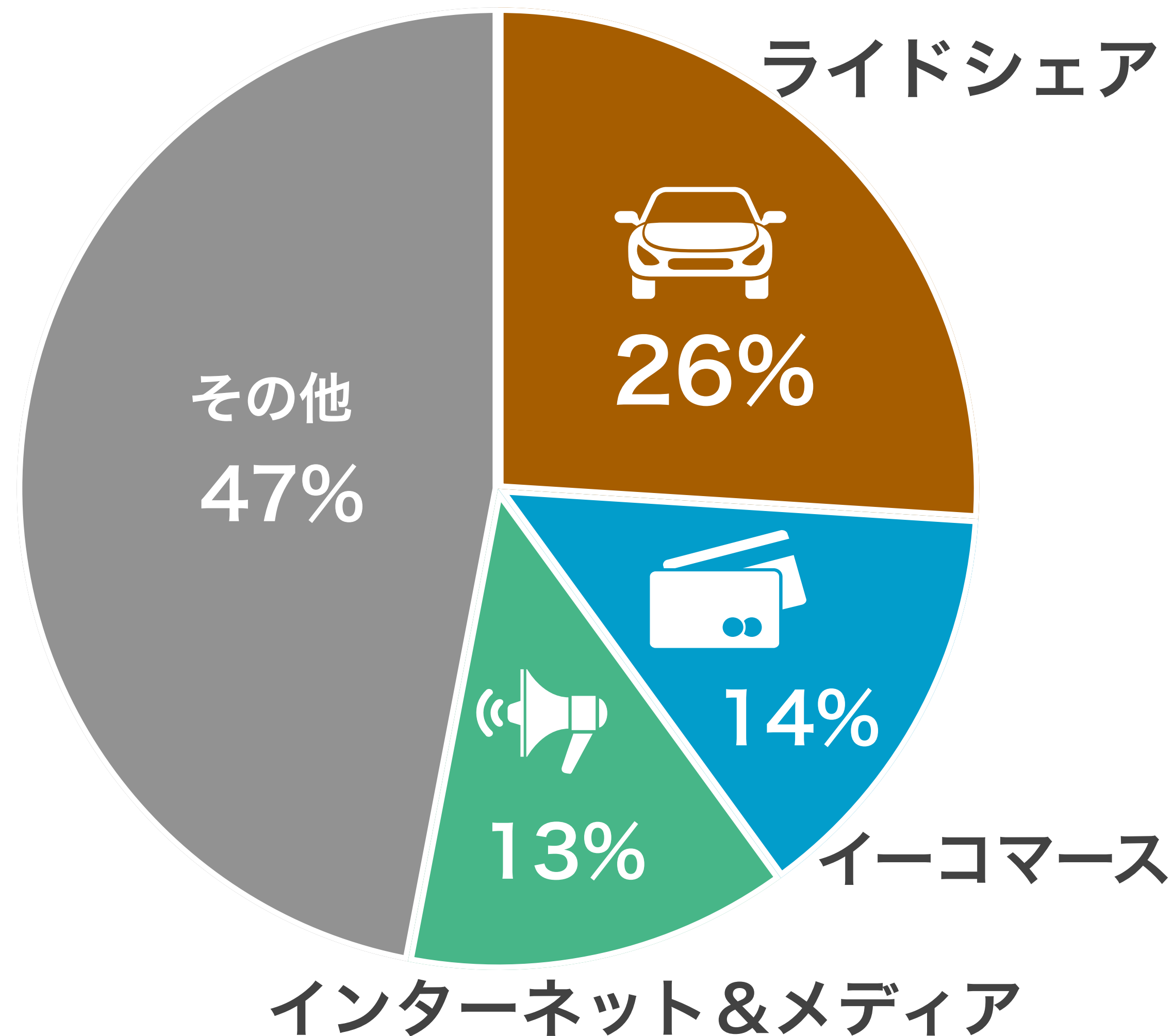
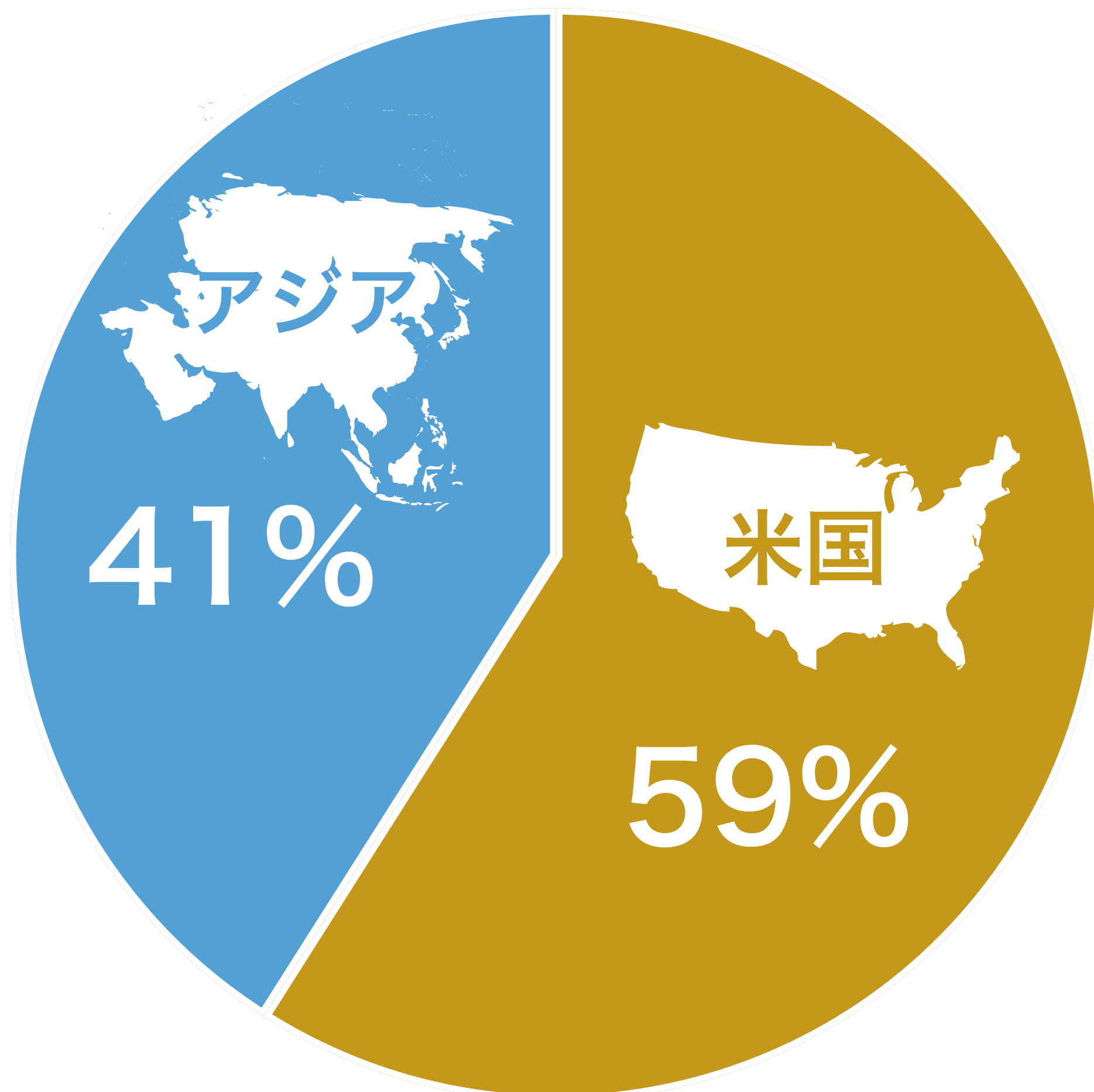


ヘルスケア



* 一部抜粋; Eコマースにクラシファイドサービスを含む

総額 20億ドル



*イーコマースにクラシファイドサービスを含む

新規投資

(追加投資) Didi、SoFi

投資回収

資産再配分

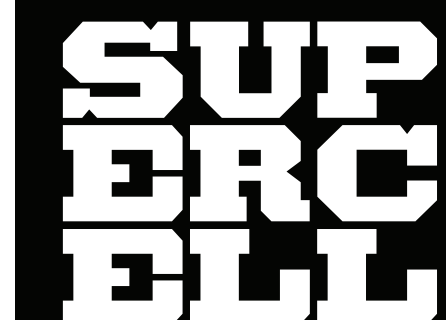


- 世界最大の市場で急成長
- Alibaba・Tencentの協力で圧倒的ポジション
- すべての需要に応える優れた実行力

新規投資

投資回収
Supercell, GungHo

資産再配分

The logo for Supercell, consisting of the word "SUPERCCELL" in a bold, white, sans-serif font, stacked vertically within a black square.

- 調達総額: 78億ドル IRR: 93%
- Tencentはさらなる成長への理想的パートナー
- レバレッジを下げ、戦略上の柔軟性確保へ

新規投資

投資回収

資産再配分

Alibaba (一部株式)



- 調達総額(純額) : 88億ドル IRR: 68%
- 革新的な資金化手段 (他社株強制転換証券等)
- 27%を保有する筆頭株主として協力関係を維持

インターネット企業への投資実績

10.1兆円

IRR 44%



7,398億円

累計投資額

累計リターン額



さらなる成長戦略

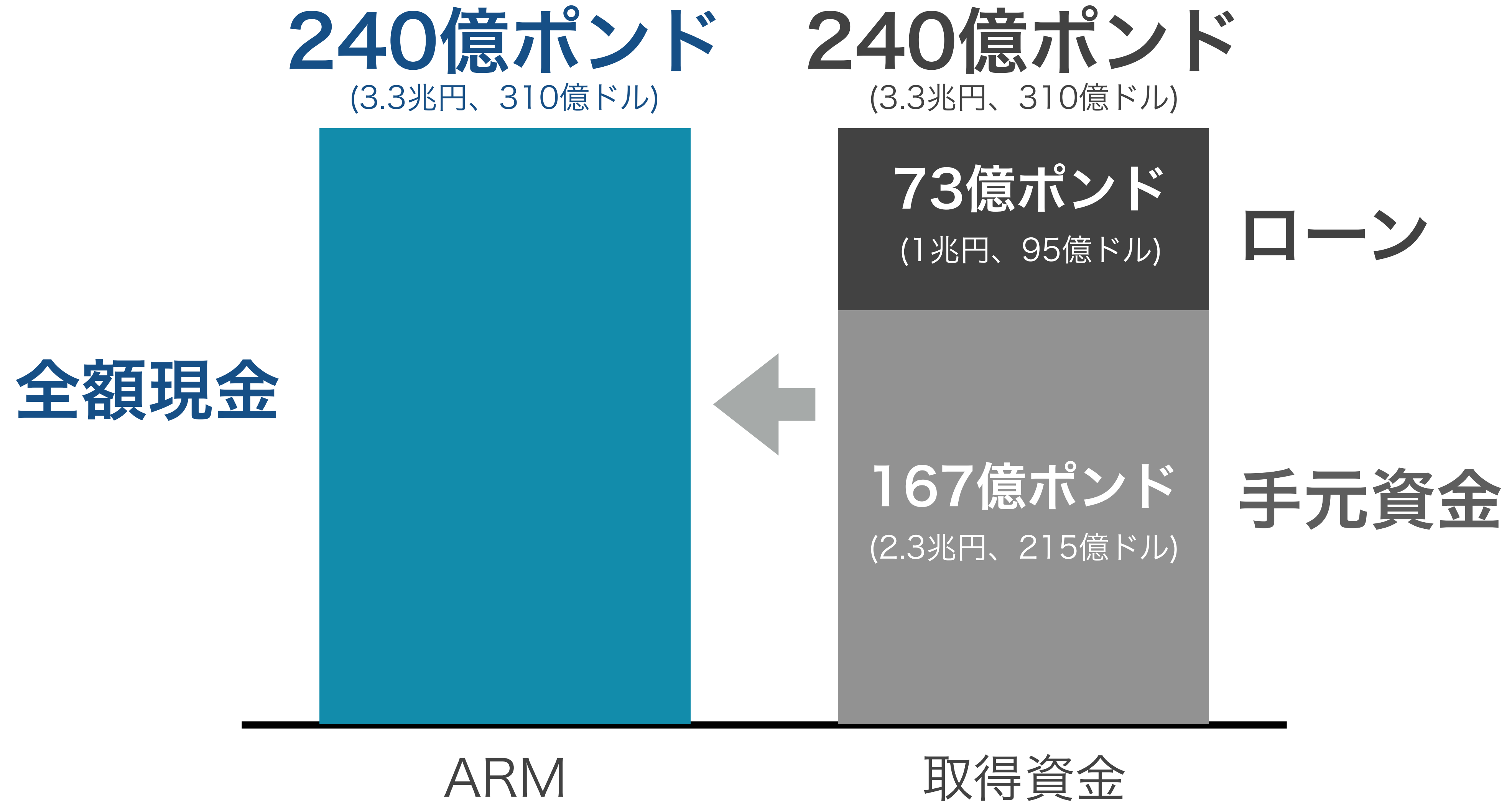
2016年7月18日

戦略的提携を発表

 SoftBank
Group



買収総額



スケジュール

アナウンス
(7月18日)

スキームに関わる
書面の公表

裁判所認可
及び株主総会

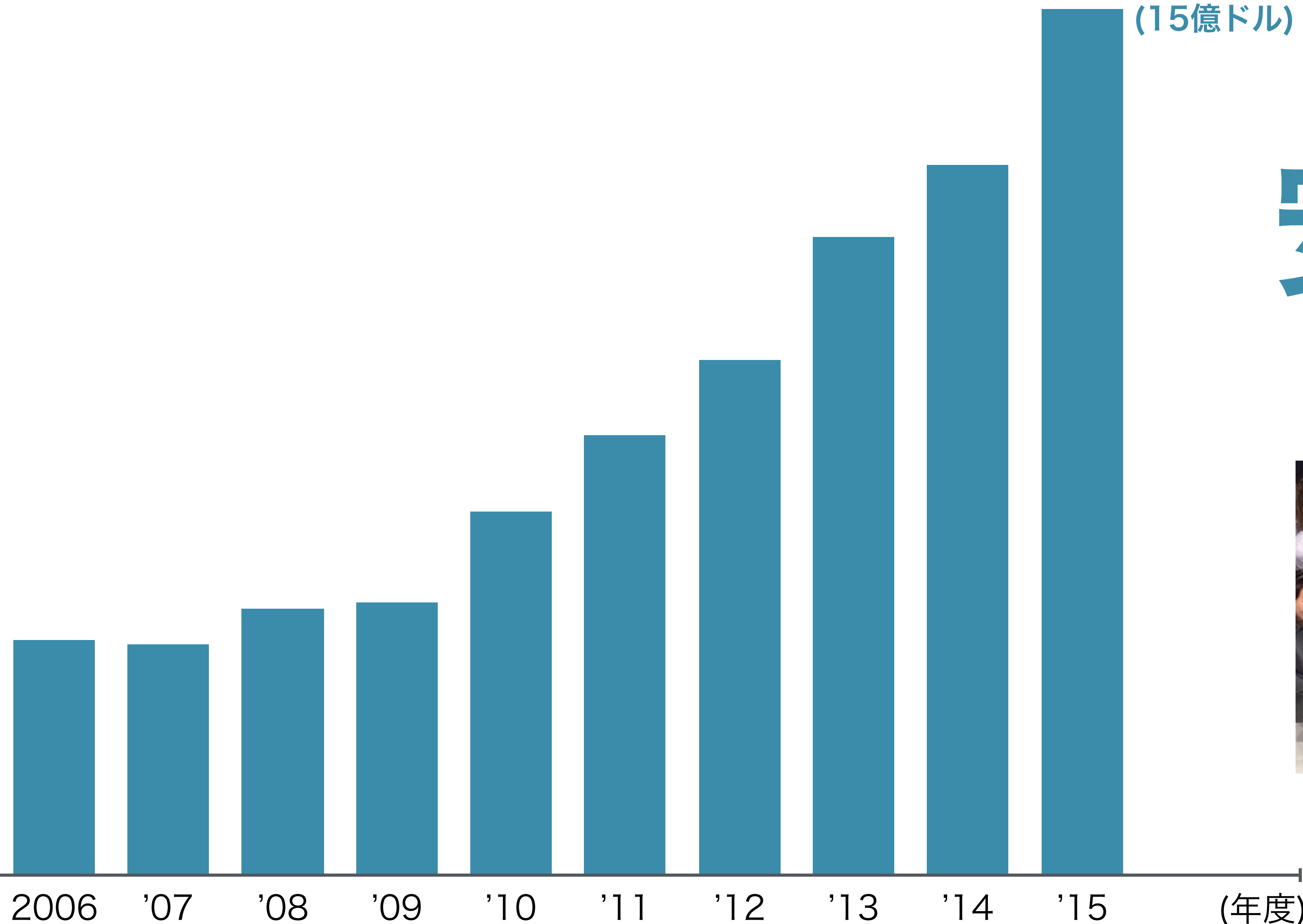
スキームに関わる
認可・承認の申請

スキームの
効力発生

ARM

1,791億円
(15億ドル)

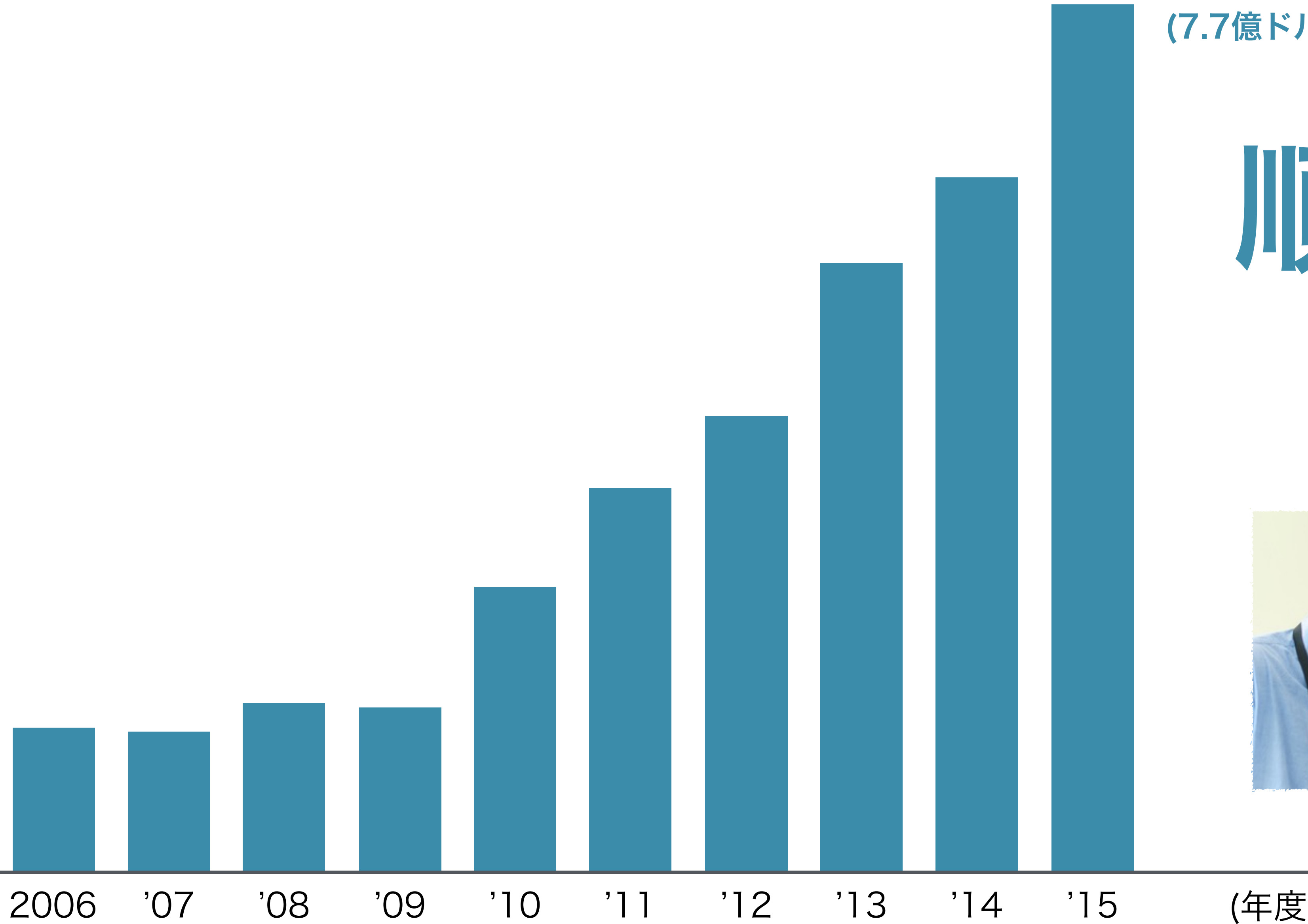
安定成長



1ポンド = 184.95円 (2015年1-12月 期中平均レート)
(出所) ARM Holdings 開示資料を基に当社作成

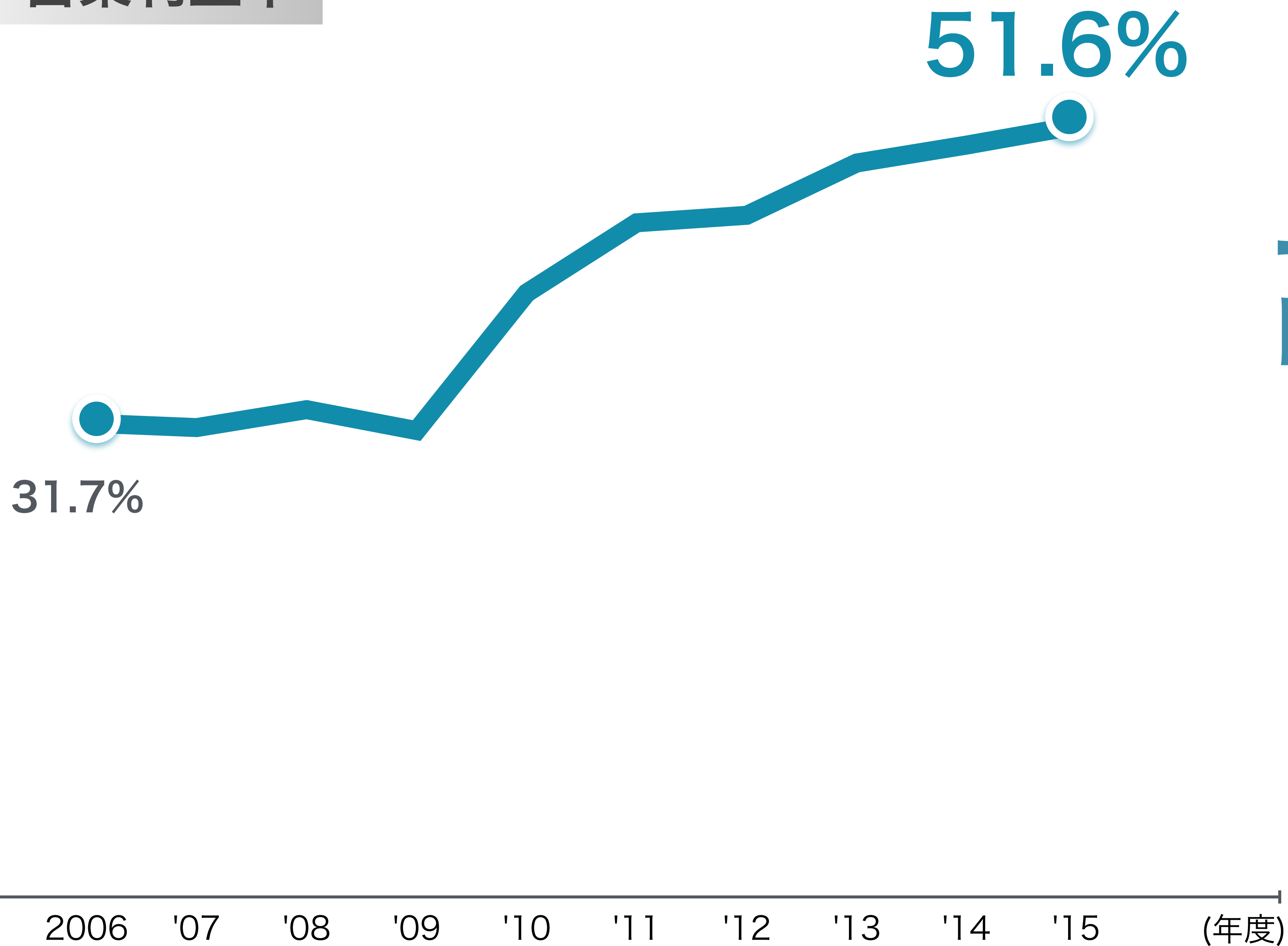
924億円
(7.7億ドル)

順調に成長



1ポンド = 184.95円 (2015年1-12月 期中平均レート)

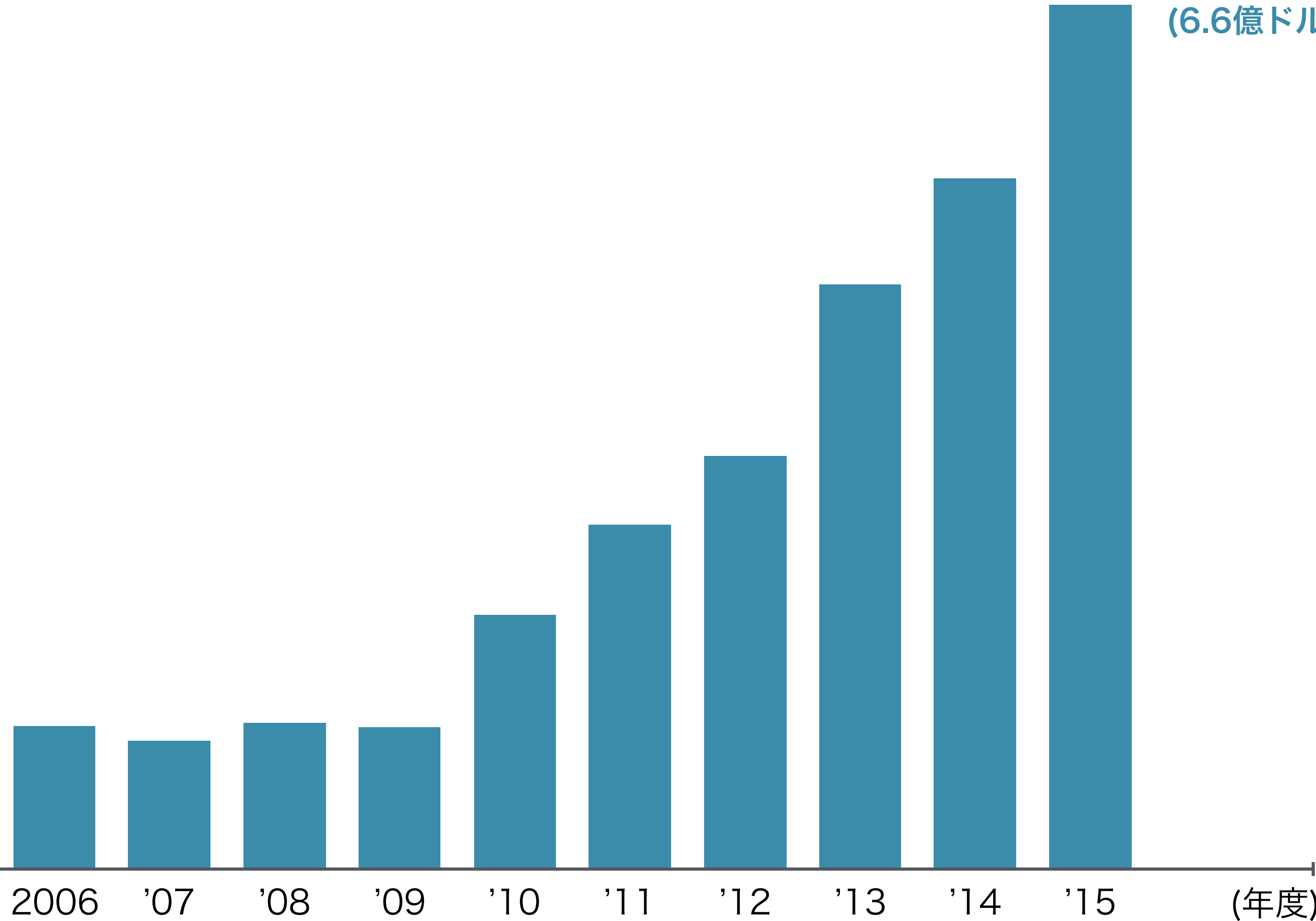
出所: ARM Holdings 開示資料を基に当社作成



高収益率

793億円

(6.6億ドル)



高収益



1ポンド = 184.95円 (2015年1-12月 期中平均レート)

出所: ARM Holdings 開示資料を基に当社作成

ARM



半導体メーカー

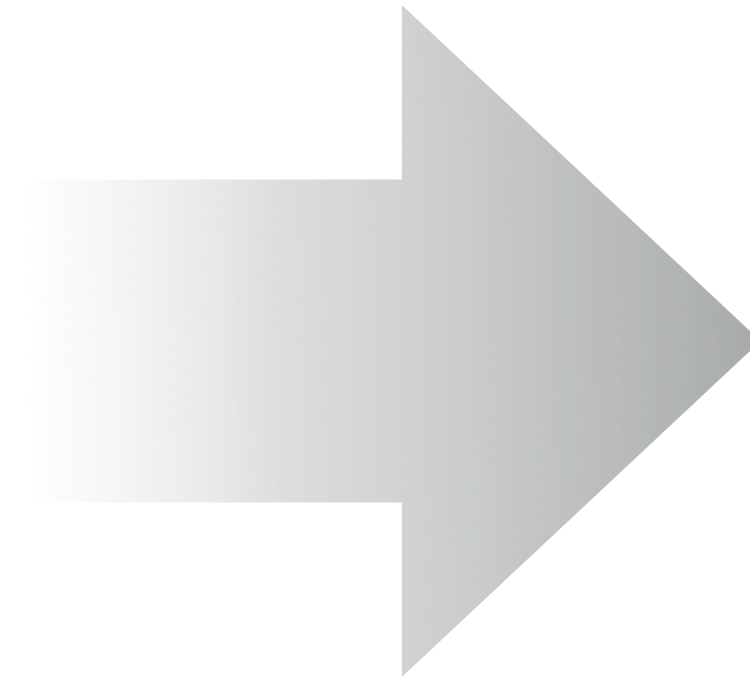


デバイスメーカー

研究開発・設計

チップの開発・製造

様々な電子機器



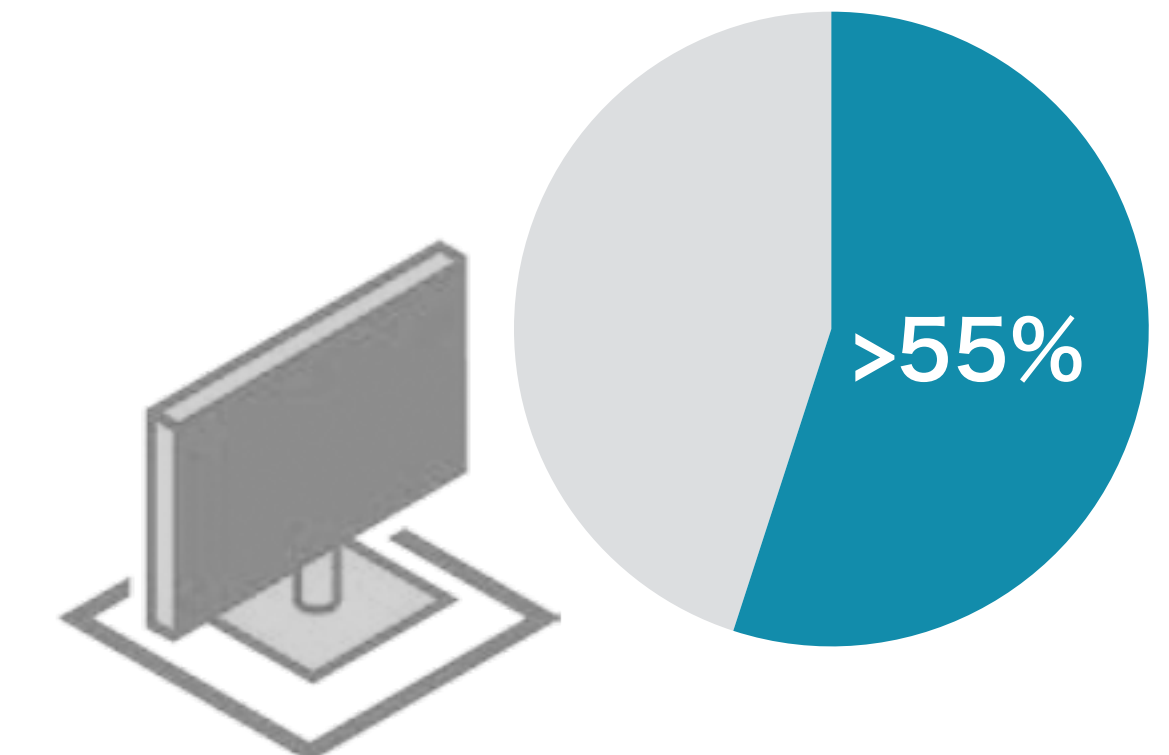
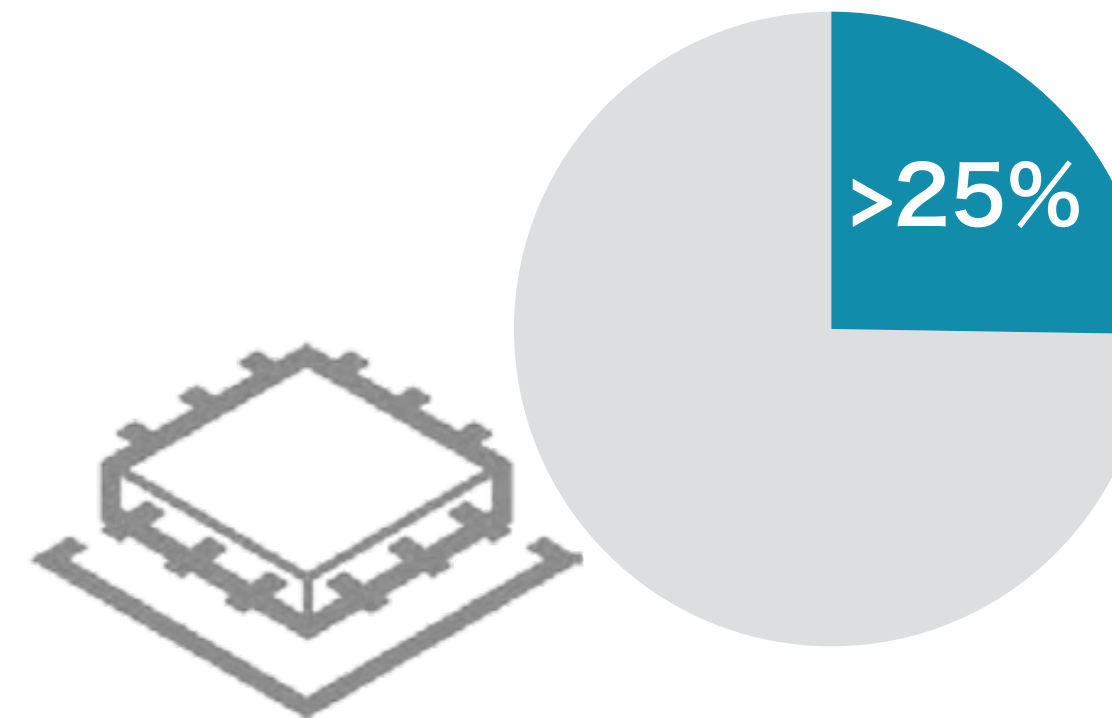
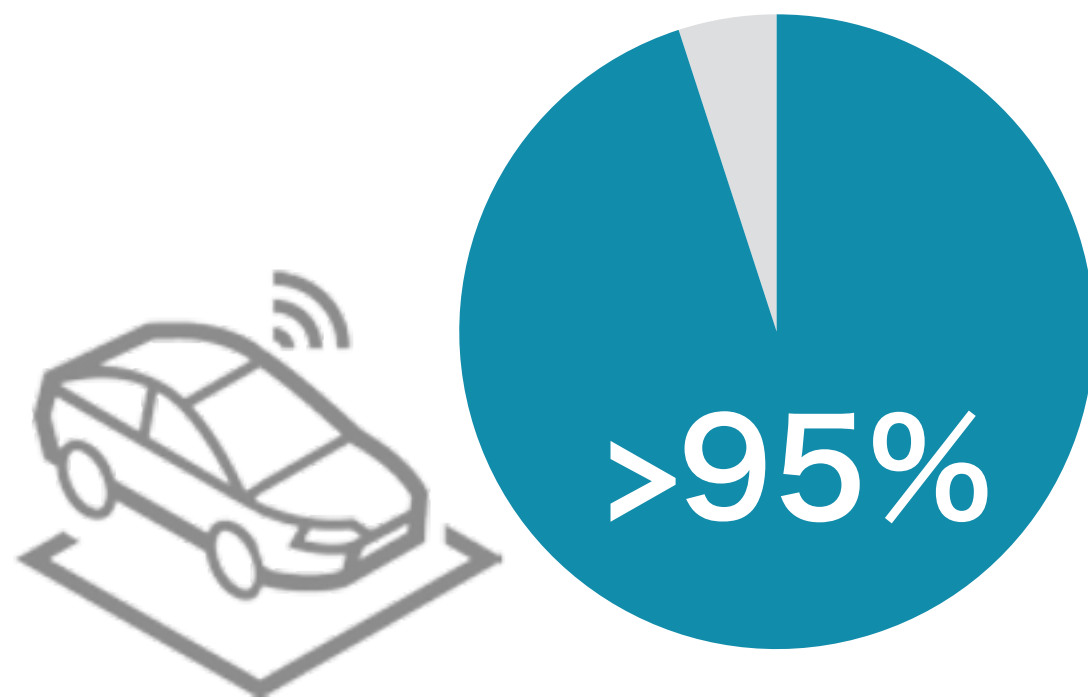
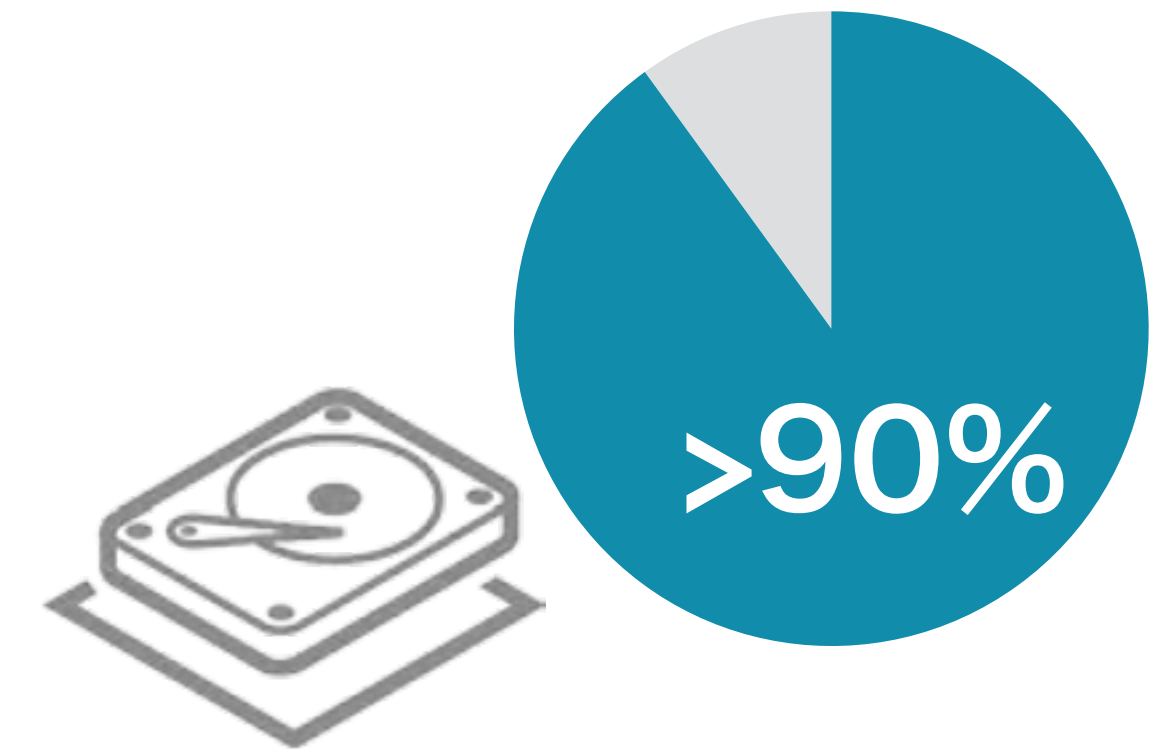
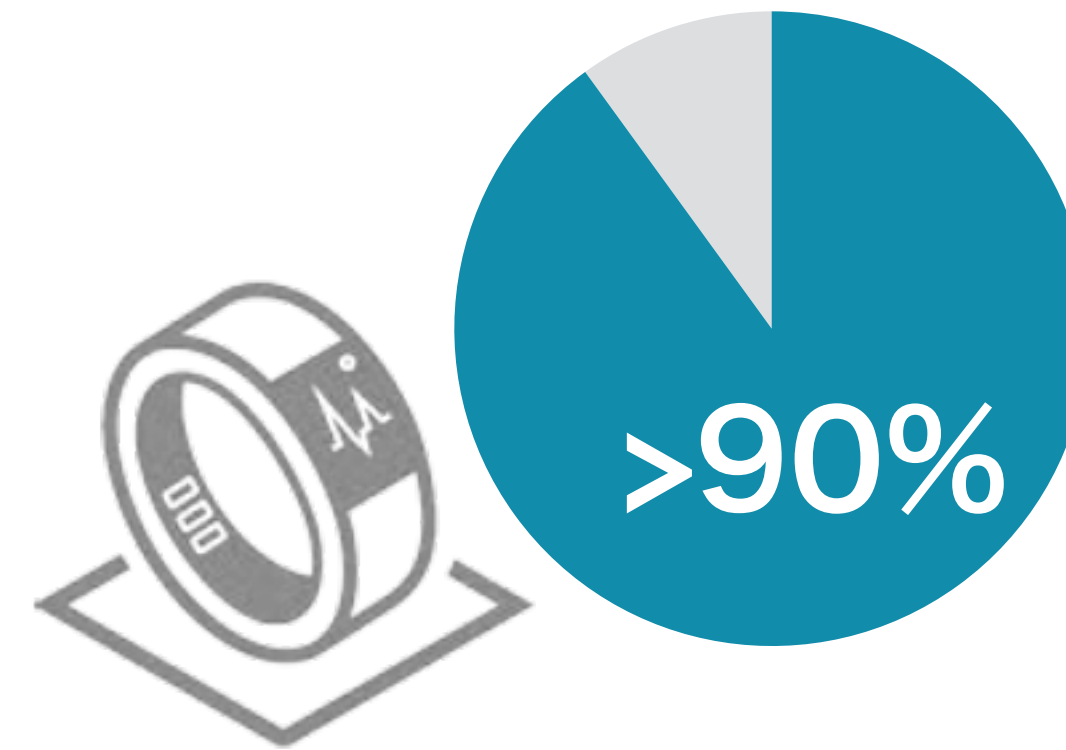
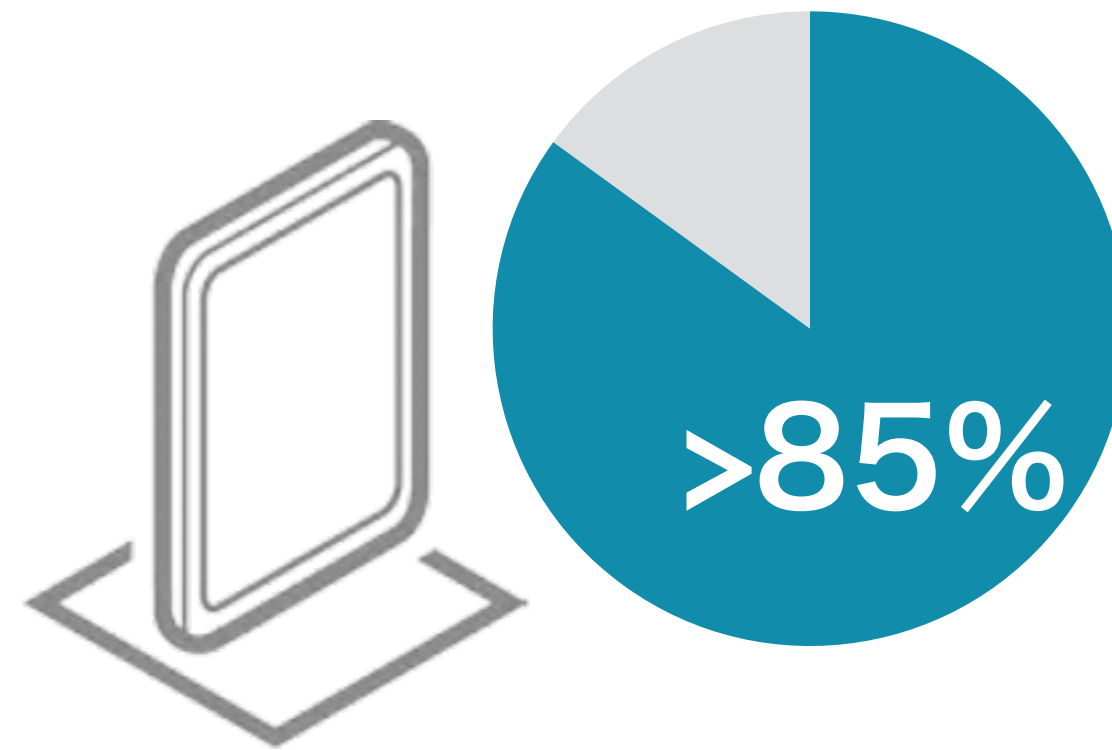
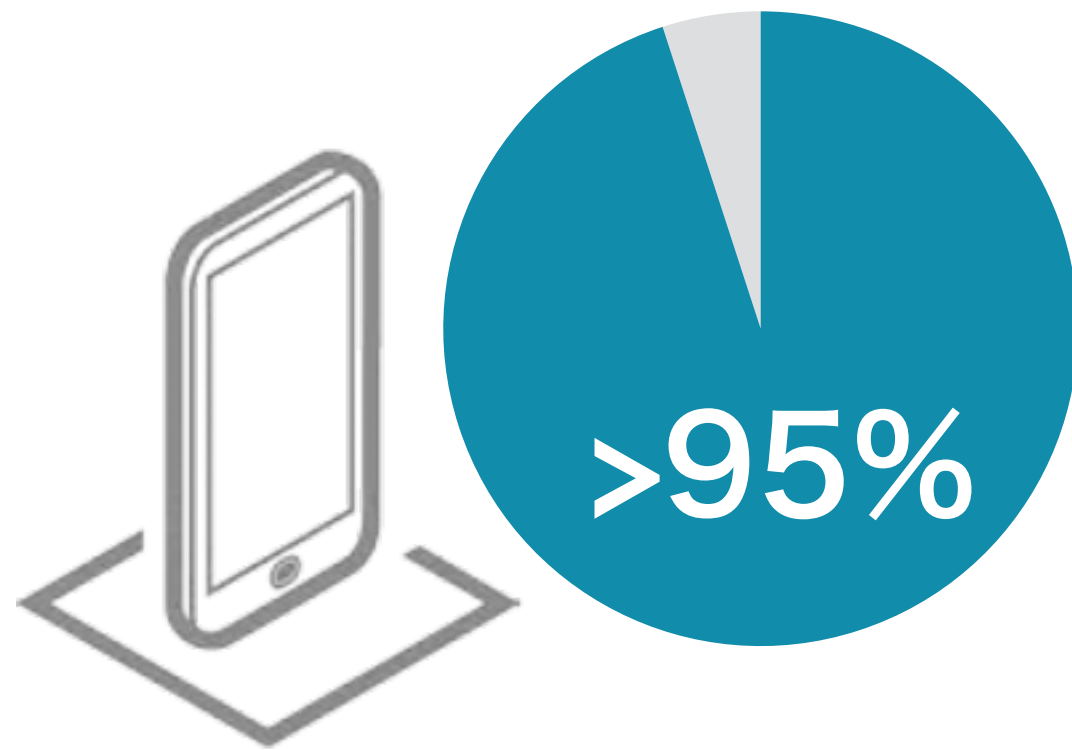
様々な製品がARMアーキテクチャを採用

スマートフォン

タブレット

ウェアラブル

ストレージ



車載情報機器

マイクロコントローラ

通信機器

家電製品

ARMベース チップ出荷数



(億個)

148億

爆発的な
成長を継続



0.1

1991 1993 1995 1997 1999 2001 2003 2005 2007 2009 2011 2013 2015

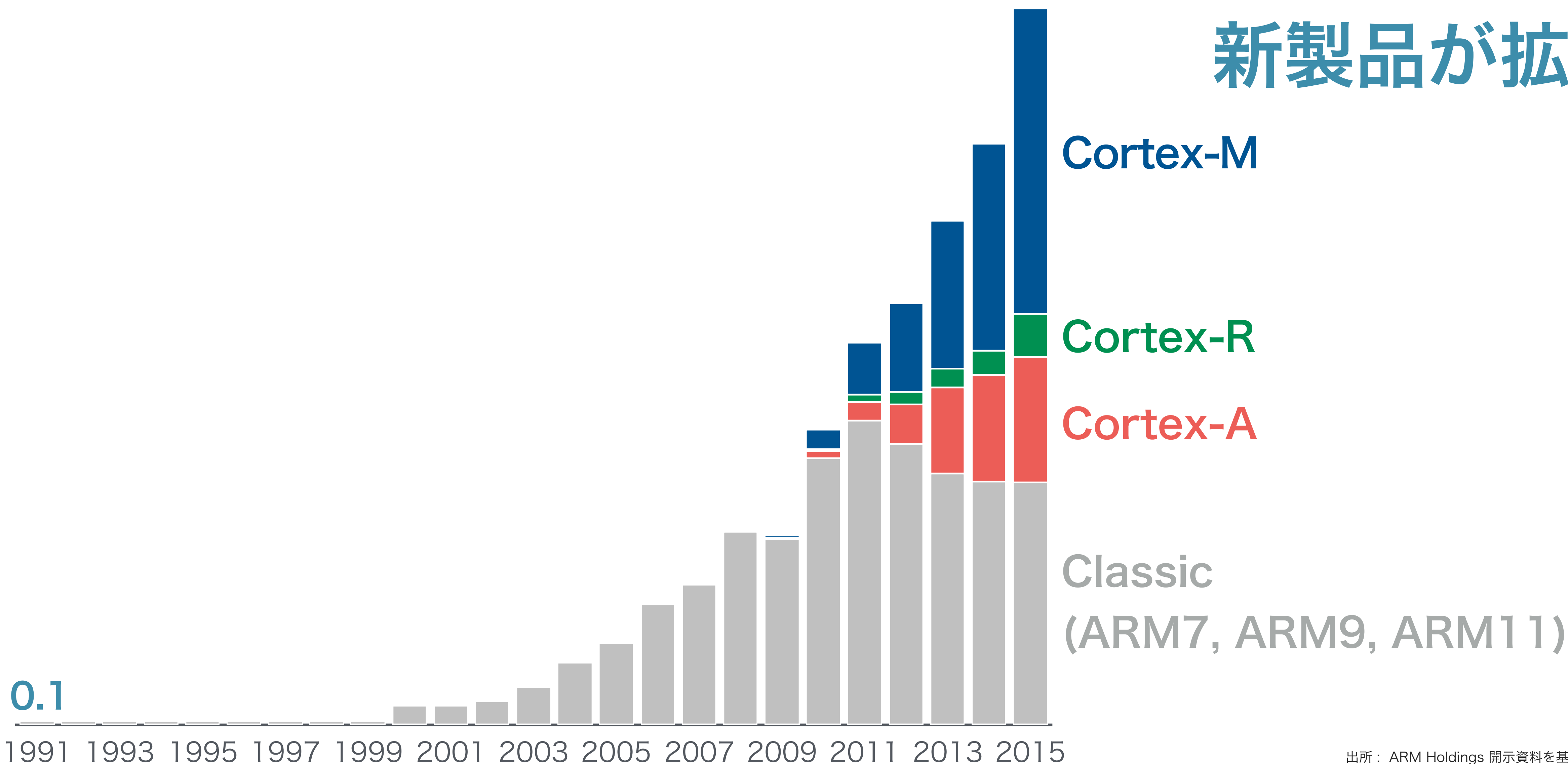
ARMベース チップ出荷数



(プロセッサ別 億個)

148億

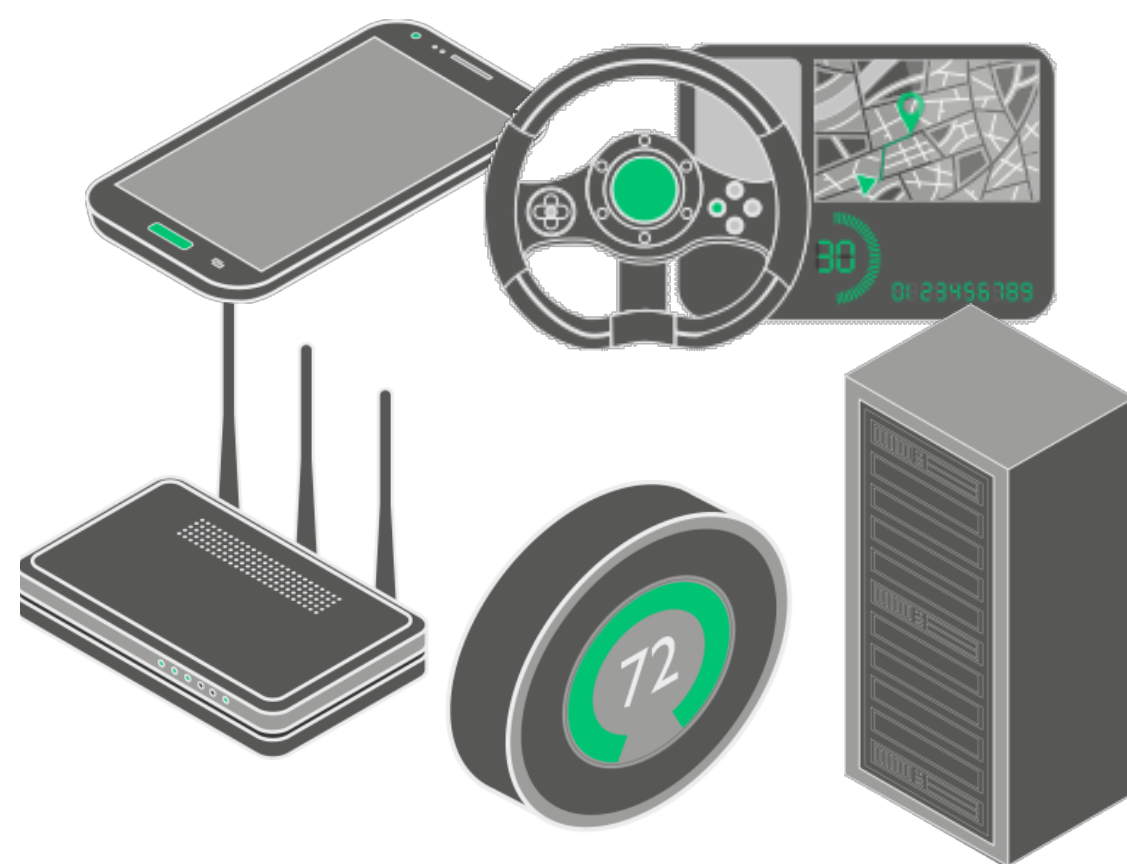
新製品が拡大



製品ラインナップ

Cortex-A

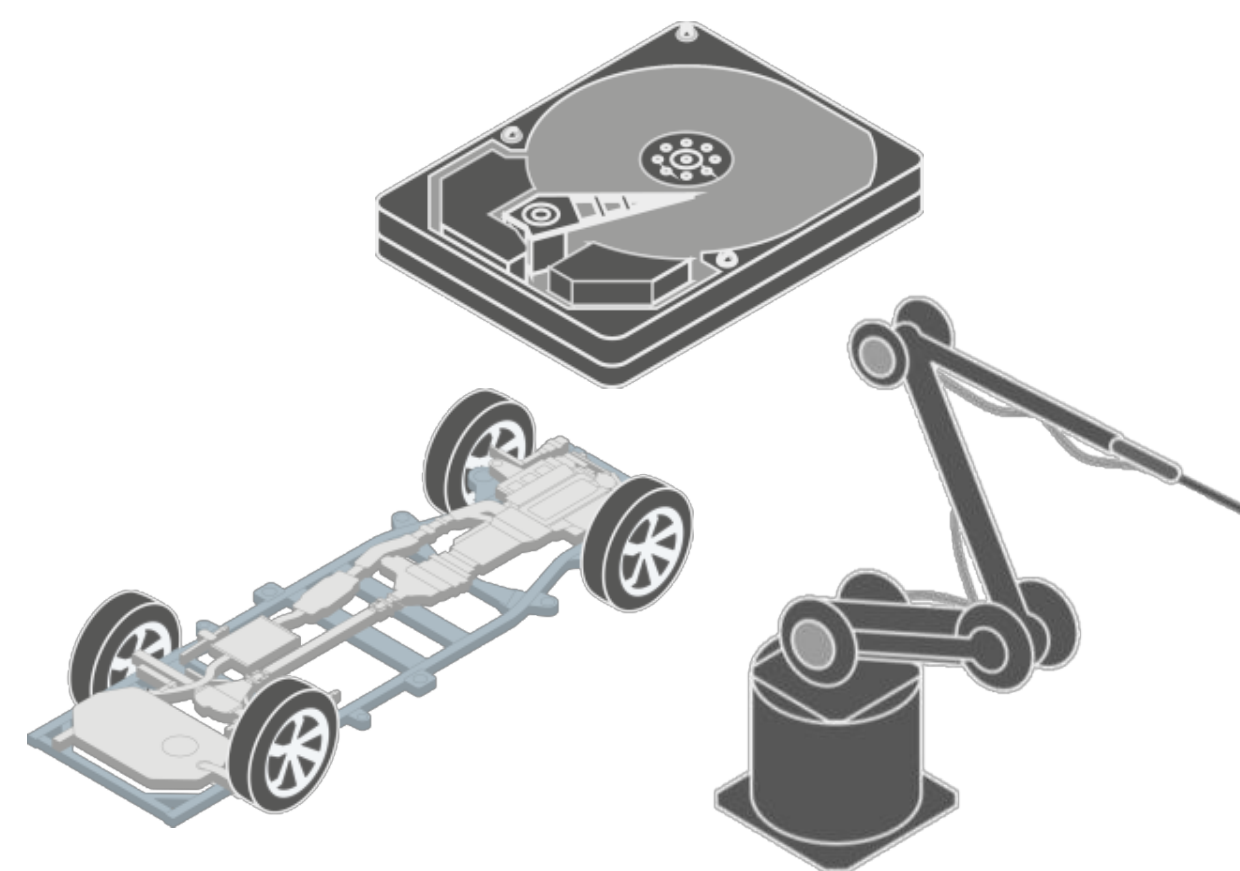
ハイパフォーマンス



高機能製品向け

Cortex-R

高速レスポンス



リアルタイム処理向け

Cortex-M

小型・省電力

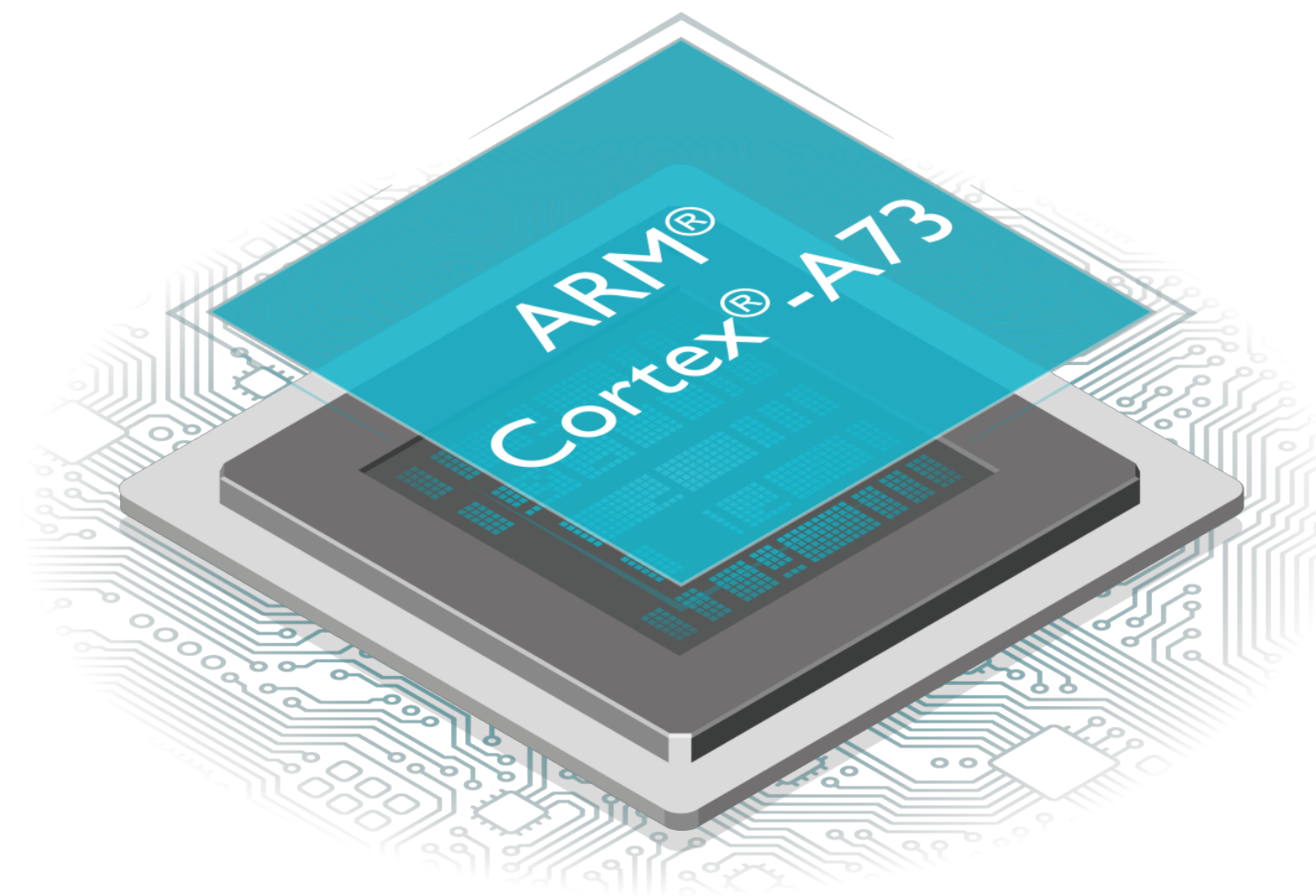


マイクロコントローラ向け

Cortex-A73

(2017年提供予定)

ARM



2.8GHz周波数帯

30%

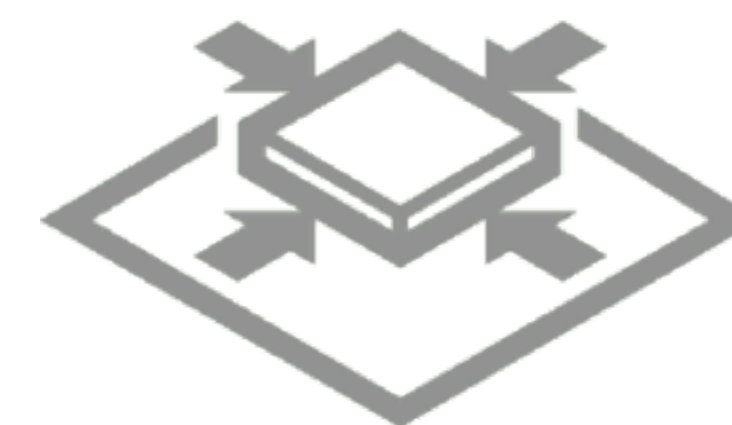
パフォーマンスを向上



携帯電話向けに最適化

30%

電力効率を向上

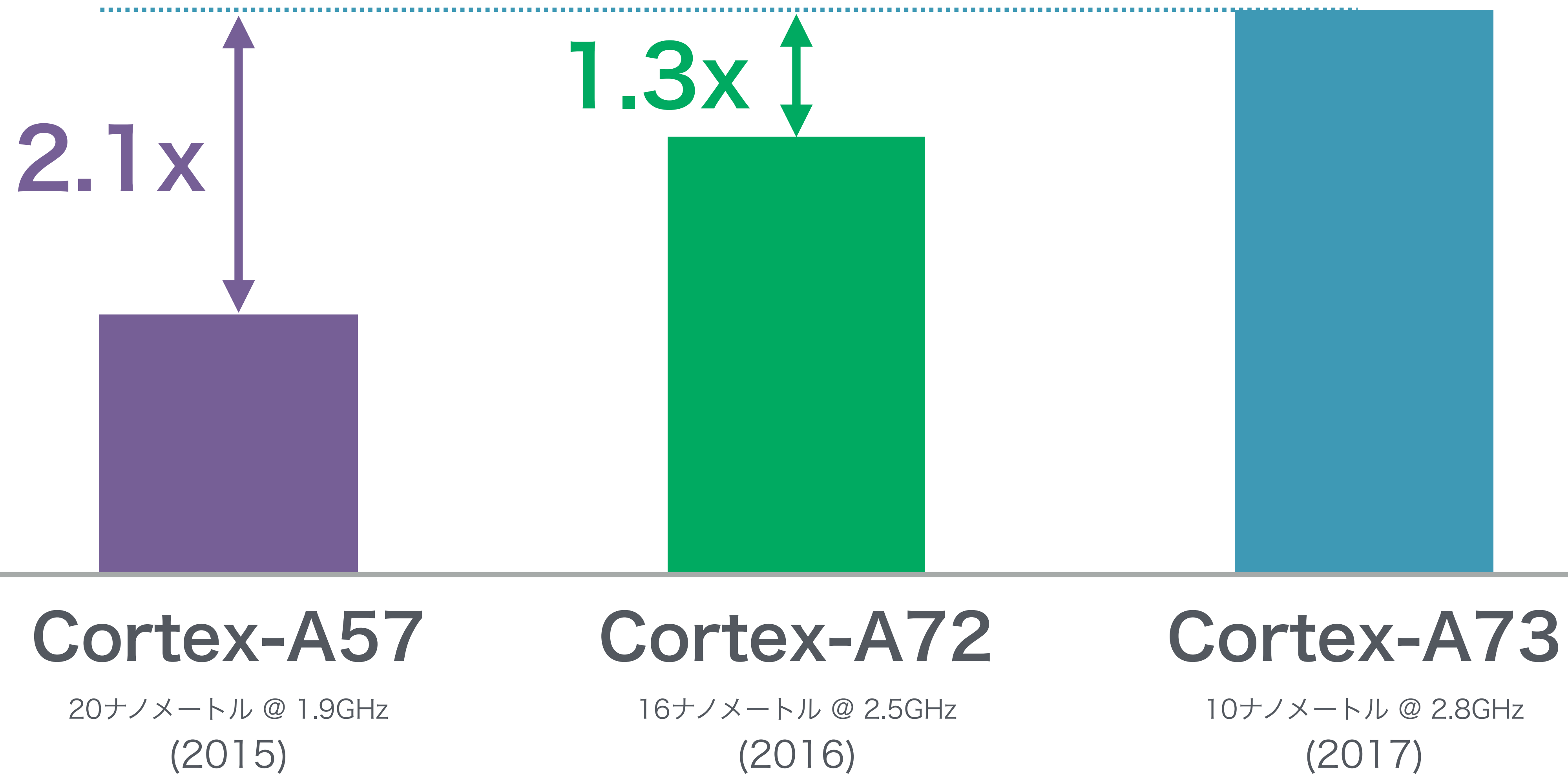


最小の面積

0.65mm²

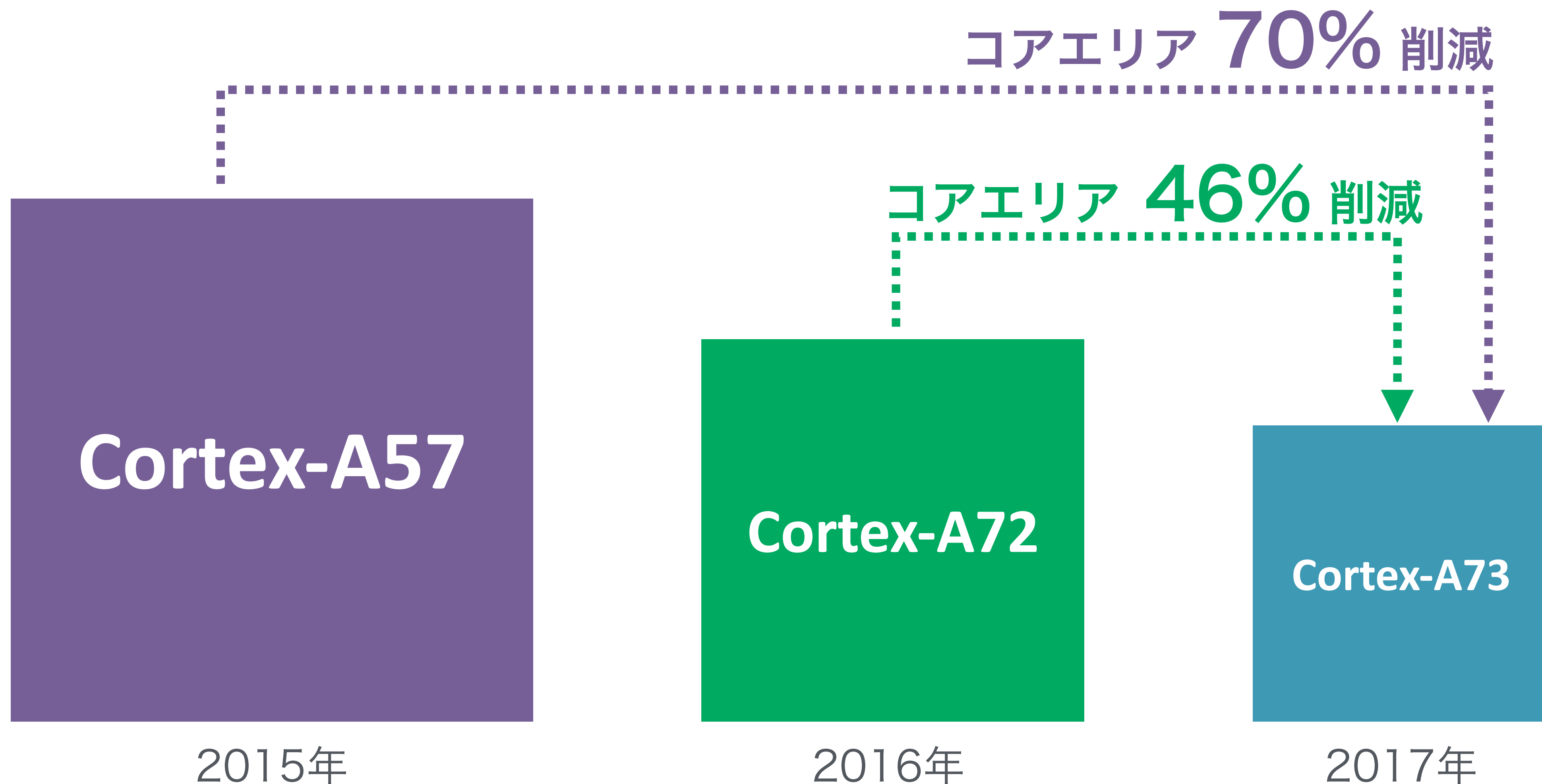
コアエリア

ARM製品の中で最も性能の高いCPU



Galaxy S6, Nexus 6P

750mW以内のコアあたり電力バジェットで保持された作動を想定
spec2kにて計測



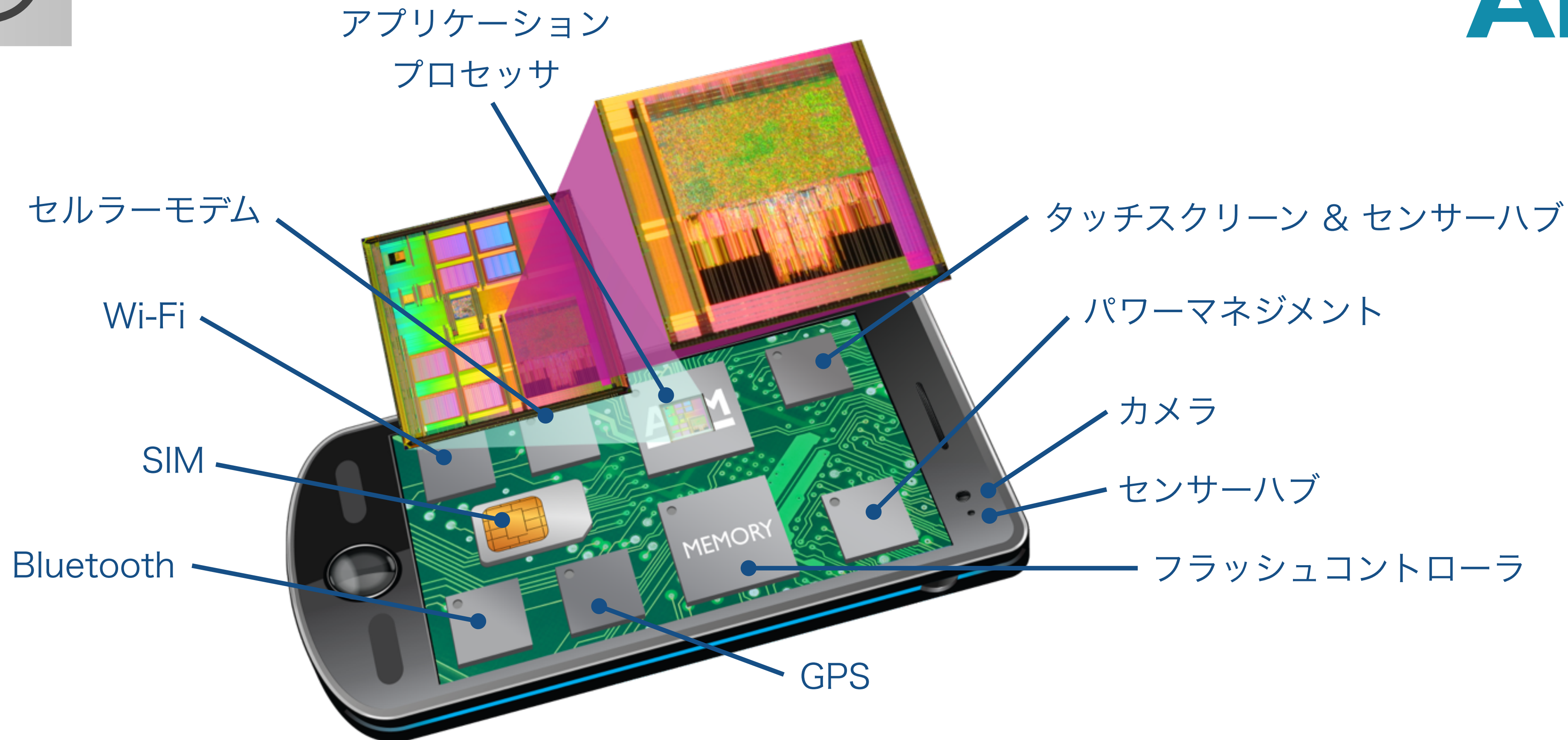
プロセスルール
(回路幅)

20ナノメートル

16ナノメートル

10ナノメートル

1ナノメートル = 0.000001ミリメートル



2009年との性能比較

300倍
GPU性能

20倍
通信性能

24倍
解像度

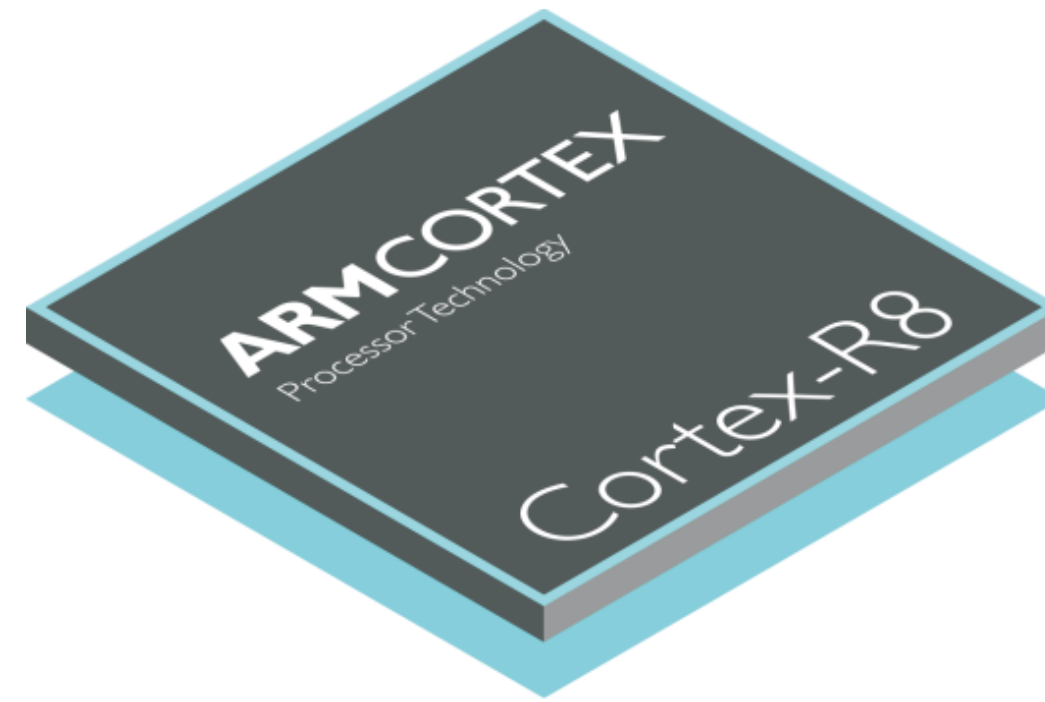
100倍
処理性能

5倍
センサー数

Cortex-R8

(2016年提供予定)

ARM



処理速度

クラス最速の
処理速度

革新性

5G性能を持つ
唯一のリアルタイム
プロセッサ

信頼性

次世代の
データ統合機能

汎用性

1コアから
4コアをカバー

リアルタイム

即時レスポンスによる
割り込みレイテンシー

モデム・ストレージで世界No.1のCPUアーキテクチャ

自動車のキーテクノロジーはARMv8-R

次世代運転サポート

- Back up camera
- Blind spot detection
- 360 surround view
- Automatic parking
- Automatic braking
- Lane keeping
- Pedestrian and sign recognition

便利な機能

- Keyless entry and remote start
- Mirror control
- Power windows
- Seat comfort and adjustment
- Motorized trunks lift gates
- Interior lighting
- Rear seat entertainment
- Wipers

運転席

- Instrument cluster
- Heads-up display
- Infotainment
- Drowsy driver detection
- Audio control
- Climate control

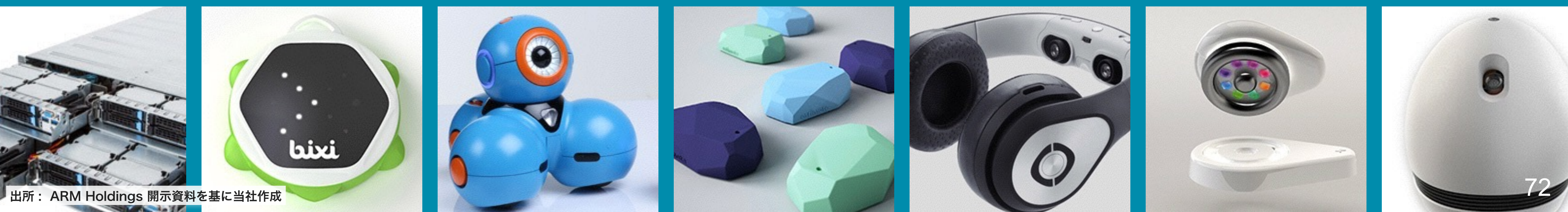


自動車制御システム

- Engine control
- Throttle control
- Transmission control
- Adaptive suspension
- Active steering
- Anti-lock braking
- Battery management
- Passenger airbags
- Tire pressure monitoring
- Immobilizer and alarms
- Telematics
- Communication gateway



ARM Innovation Hub for IoT Era



世界No.1

コンピューティングエコシステム

CPU

Trust

Tools

GPU

Mobile

Embedded

Networking

Wearable

Innovation

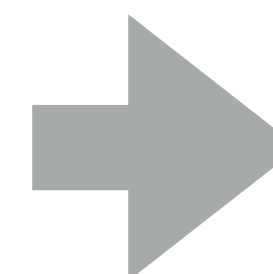
Efficiency

2015

2020 予測

モバイルアプリケーション
プロセッサ

180億ドル

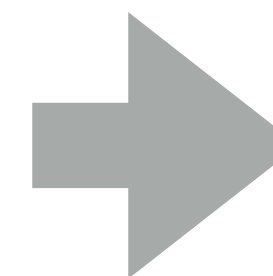


250億ドル

スマートフォン、タブレット、ARM addressable laptop を含む

ネットワーク
インフラ

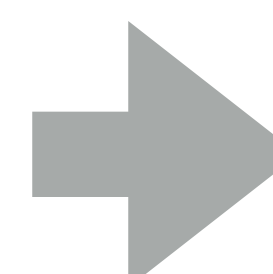
130億ドル



160億ドル

サーバー

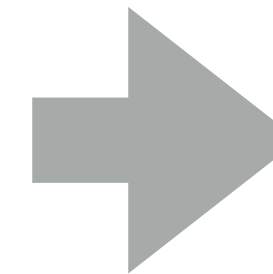
150億ドル



200億ドル

エンベデッド
インテリジェンス

210億ドル



300億ドル

マイクロコントローラー、スマートカード、非モバイル通信を含む。自動車用を除く。

チップ出荷予測 (世界)

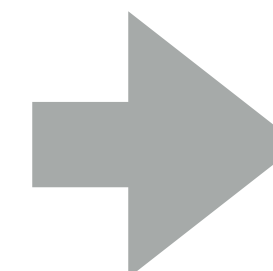


2015

2020 予測

自動車

100億ドル

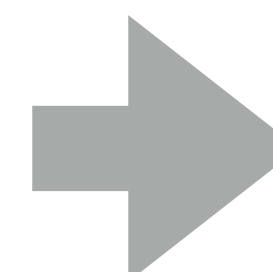


150億ドル

車載の情報エンターテインメント装置を含む

その他モバイルチップ

130億ドル

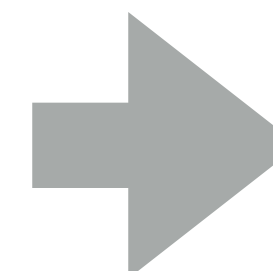


150億ドル

モデム、WiFi/BT、GPS、NFC、センサーハブ、イメージセンサー、eMMC, 等

家電製品

200億ドル

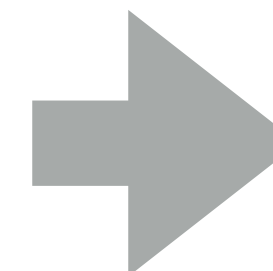


200億ドル

デスクトップPC、DTV、セットトップボックス含む

その他市場

70億ドル



100億ドル

既存戦略の加速をサポート

 SoftBank
Group

+

ARM

今後の財務方針

- 1 ARM取得資金調達のための
エクイティ・ファイナンスは一切行わない
- 2 配当方針に変更なし
- 3 純有利子負債の削減に継続的に注力

さらなる成長へ

 SoftBank
Group

1. IFRSの適用について

2013年度よりIFRS（国際会計基準）を適用しています。2012年度についてもIFRSに準拠して表示しています。

2. 本資料中の用語の定義等について

フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) : 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

EBITDA(IFRS) : 売上高 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費 + 減価償却費及び償却費

EBITDA(日本基準) : 営業損益+減価償却費+のれん償却費

有利子負債(IFRS) : 借入金+社債+リース債務+割賦購入による未払金+コマーシャル・ペーパー+優先出資証券

有利子負債(日本基準) : 借入金+社債+コマーシャル・ペーパー。リース債務を含まず。

純有利子負債 : 有利子負債-手元流動性

3. 登録商標・商標について

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンクグループ株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。

本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。

- iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。

- iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Disclaimer

Overseas Jurisdictions

Not for release, publication or distribution (in whole or in part, directly or indirectly) in, into or from any jurisdiction where to do so would constitute a violation of the relevant laws or regulations of such jurisdiction.

Forward-looking statements

This presentation (including information incorporated by reference in this presentation), oral statements made regarding the transaction, and other information published by SoftBank and ARM contain statements which are, or may be deemed to be, “forward looking statements”. Such forward looking statements are prospective in nature and are not based on historical facts, but rather on current expectations and on numerous assumptions regarding the business strategies and the environment in which the SoftBank Group will operate in the future and are subject to risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from those expressed or implied by those statements. The forward looking statements contained in this presentation relate to the SoftBank Group’s future prospects, developments and business strategies, the expected timing and scope of the transaction and other statements other than historical facts. In some cases, these forward looking statements can be identified by the use of forward looking terminology, including the terms “believes”, “estimates”, “plans”, “prepares”, “anticipates”, “expects”, “is expected to”, “is subject to”, “budget”, “scheduled”, “forecasts”, “intends”, “may”, “will” or “should” or their negatives or other variations or comparable terminology. By their nature, forward-looking statements involve risk and uncertainty because they relate to events and depend on circumstances that will occur in the future. If any one or more of these risks or uncertainties materialises or if any one or more of the assumptions prove incorrect, actual results may differ materially from those expected, estimated or projected. Such forward looking statements should therefore be construed in the light of such factors. Neither SoftBank nor ARM, nor any of their respective associates or directors, officers or advisers, provides any representation, assurance or guarantee that the occurrence of the events expressed or implied in any forward looking statements in this presentation will actually occur. Given these risks and uncertainties, potential investors should not place any reliance on forward looking statements.

The forward looking statements speak only at the date of this presentation. SoftBank and ARM expressly disclaim any obligation to update such statements other than as required by law or by the rules of any competent regulatory authority, whether as a result of new information, future events or otherwise.